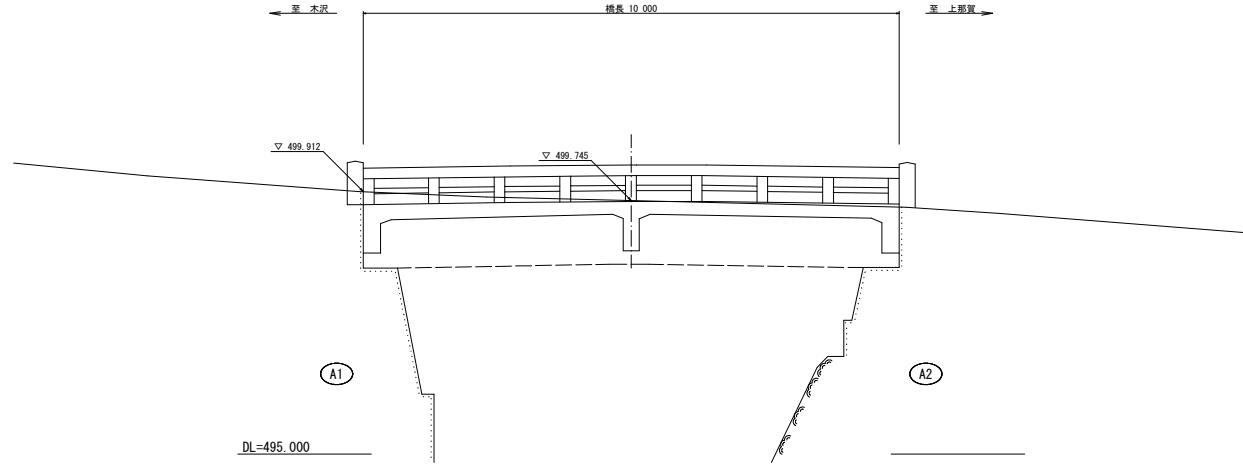
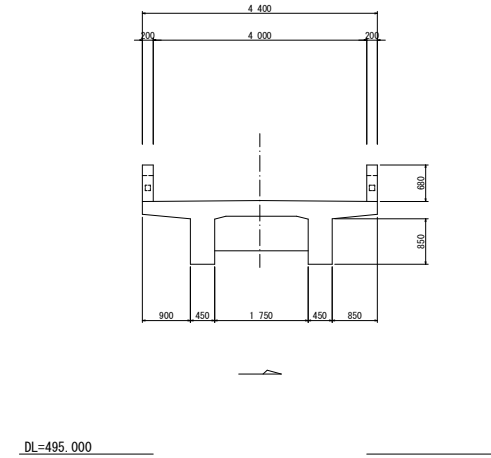


# 唐谷橋 橋梁一般図 S=1:50

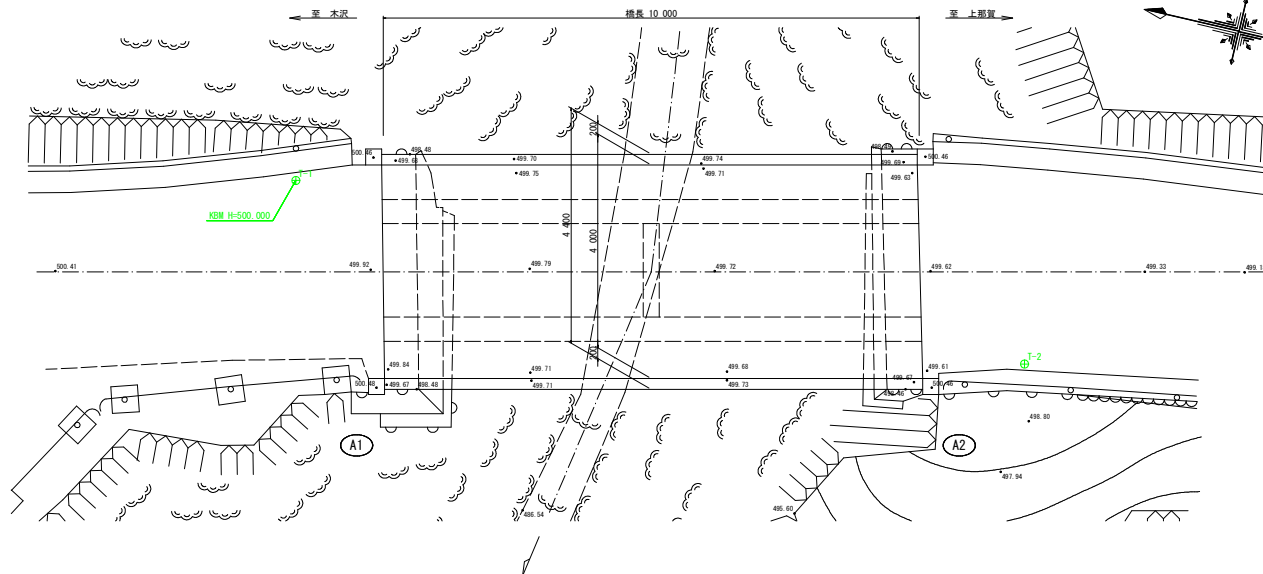
## 側面図



## 断面図



## 平面図



## 橋梁概要

路線名	一般県道 木次上那賀線
橋 種	二等橋(TL-14)
橋 長	10,000m
幅 員	4,400m(全幅員)
斜 角	90°(直線橋)
上部工	A1-A2径間 RCT桁橋
施工年次	1958年(昭和33年供用開始)
下部工	橋台 橋脚 重力式橋台(直礎基礎)
施工年次	1958年(昭和33年供用開始)
交 差 物	(不明)
添 加 物	防護柵(コンクリート高欄)
適用示方書	昭和31年 鋼道路橋設計示方書

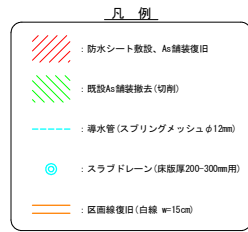
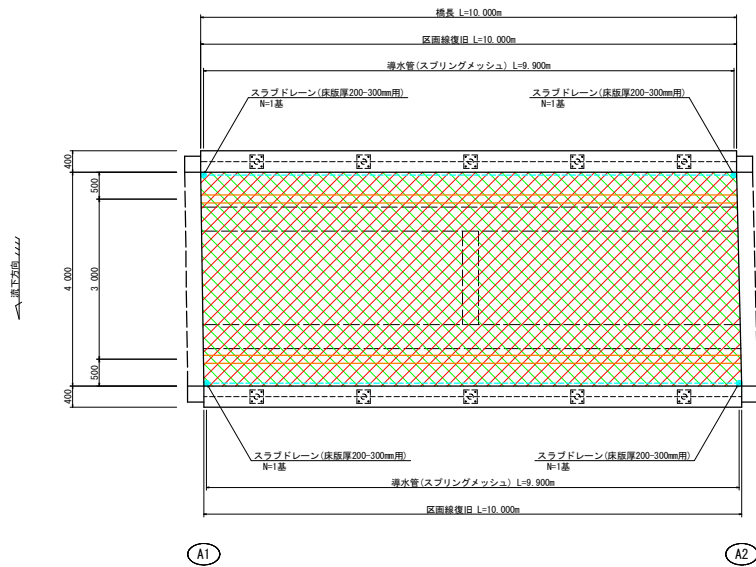
## 実施設計図面 (唐谷橋)

工 事 名	R2郡土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般県道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図 面 名	橋梁一般図		
縮 尺	S=1:50	図面番号	1 / 22
会 社 名			
事業者名	徳島県南総合企画局<那賀>		

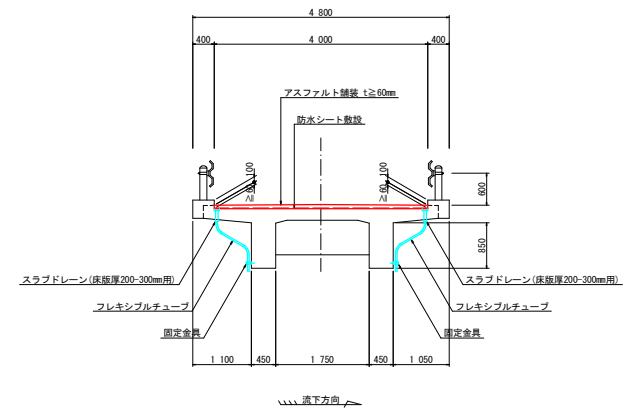
※) 図中の水準高さは任意とする。

# 橋面防水工敷設工詳細図

平面図 S=1:50  
(橋面)



断面図



※) 地覆及び防塵柵は、取り替え後の形状で示している。  
※) フレキシブルチューブ及び固定金具は必要に応じて取り付けるものとする。

算式	数量	備考
撤去 A= 4.00×10.00	40.0 m <sup>2</sup>	As:t≧60mm
復旧 A= 4.00×10.00	40.0 m <sup>2</sup>	

算式	数量	備考
面積 A= 4.00×10.00	40.0 m <sup>2</sup>	

算式	数量	備考
延長 L= 9.9+9.9	19.8 m	

算式	数量	備考
延長 L= 9.9+9.9	19.8 m	

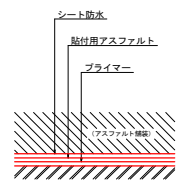
算式	数量	備考
箇所 (床版厚 200-300mm対応)	4 基	

算式	数量	備考
延長 L= 4×1.20	4.8 m	

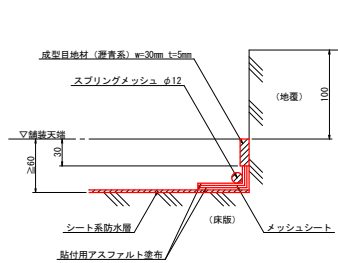
算式	数量	備考
箇所 N= 4	4 孔 (削孔径50mm)	

算式	数量	備考
延長 L= 10.0+10.0	20.0 m	

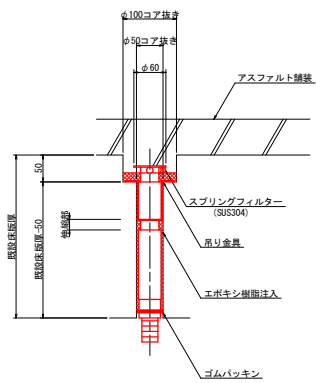
シート防水標準構成図 S=1:3



地覆部詳細構造 S=1:3



スラブレーン詳細 S=1:5



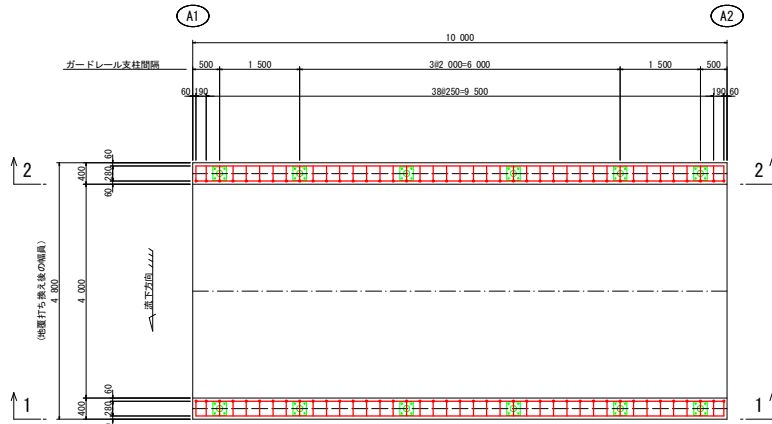
※) 図は参考であり、実施においては同等以上の性能を有する製品を使用すること。  
※) 床版厚 200mm-300mmに対応した製品を使用すること。

## 実施設計図面

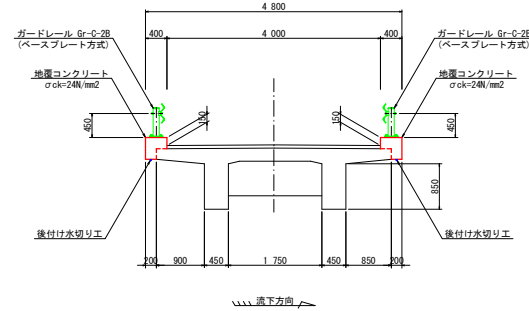
実施設計図面 (唐谷橋)	
工事名	R2那土 木次上那賀線他 (唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道 木次上那賀線他
工事箇所	那賀郡那賀町川成他
図面名	橋面防水工敷設工詳細図
縮尺	図示 図面番号 2 / 22
会社名	
事業者名	徳島県南総合市民局<那賀>

# 地覆防護柵取替え工詳細図

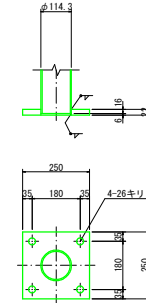
平面図 S=1:50



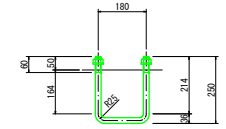
断面図 S=1:50



ベースプレート S=1:10

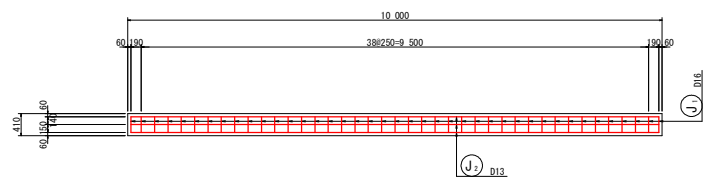


Uボルトアンカー S=1:10



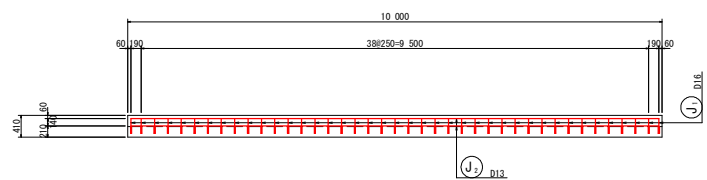
側面図 S=1:50

(1-1)



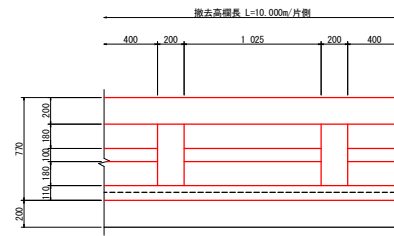
側面図 S=1:50

(2-2)

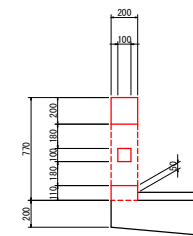


(撤去)既設地覆高欄 S=1:20

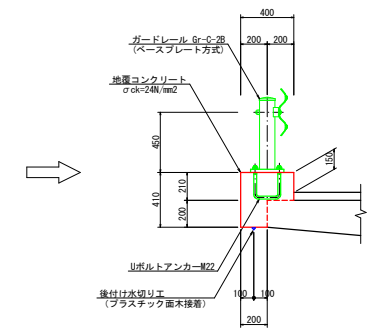
正面図



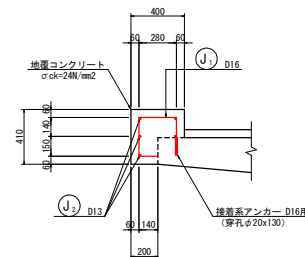
断面図



地覆防護柵詳細 S=1:20

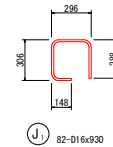


地覆配筋 S=1:20

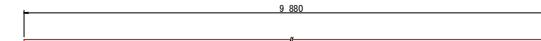


鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	換算
J <sub>1</sub>	D16	930	82	1.56	1.45	119	□
J <sub>2</sub>	D13	9,880	10	0.995	9.83	98	—
合計 D16					119 kg		
D13					98 kg		
総質量					217 kg		
接着系アンカー(φ16用)					82 本		



J<sub>1</sub> 82-D16x930



J<sub>2</sub> 10-D13x9,880

※) 接着系アンカーの削孔にあたっては、床版の残り厚さに注意すること。  
 ※) 防護柵の仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定すること。

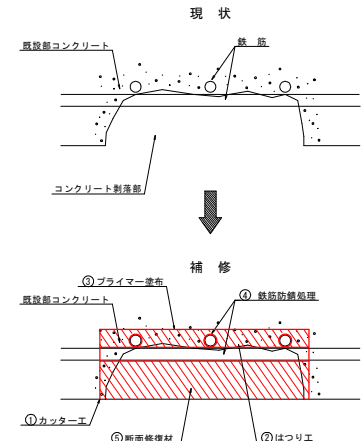
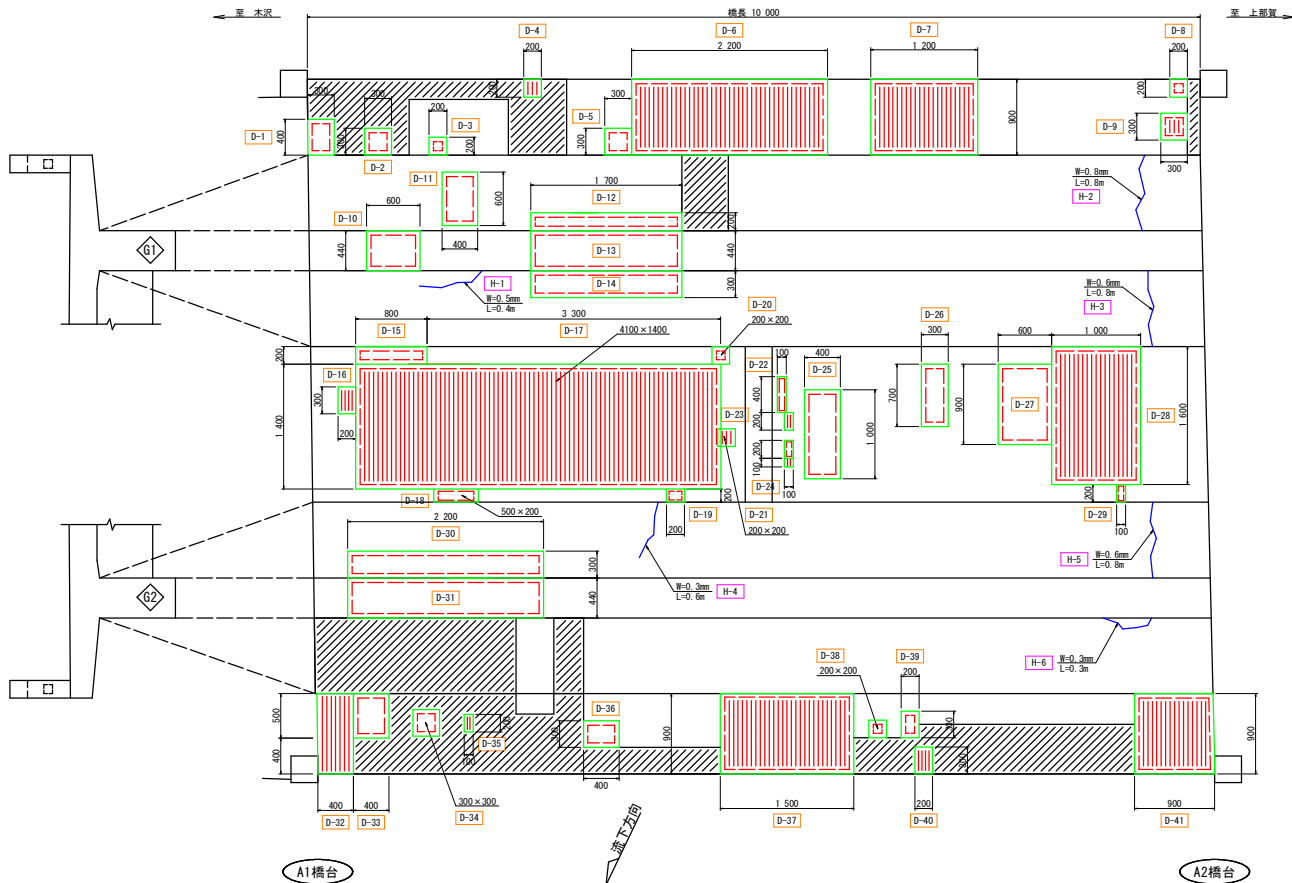
## 実施設計図面 (唐谷橋)

工事名	R2那土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	地覆防護柵取替え工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(那賀)		

# 橋梁補修工詳細図

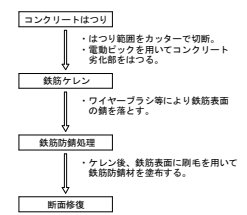
上部工下面 S=1:30

断面修復工  
(左官工法)



断面修復工 総計 : (面積)  $\Sigma A=19.45\text{m}^2$   
(修復材)  $\Sigma V=0.976\text{m}^3$

施工フロー図

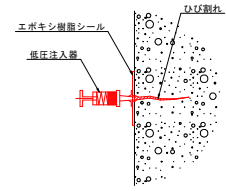


1) コナ差りは空隙を残さないように丁寧に施工する。  
2) 1回の塗り厚さは断面修復材の仕様の塗り厚さに従い、何層かに分けて施工する。

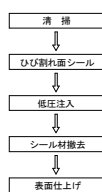
断面修復工数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	面積(m <sup>2</sup> )	厚さ(mm)	数量(m <sup>3</sup> )
D-1	0.40	0.30	0.120	50	0.006
D-2	0.30	0.30	0.090	50	0.005
D-3	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-4	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-5	0.30	0.30	0.090	50	0.005
D-6	0.90	2.20	1.980	50	0.099
D-7	0.90	1.20	1.080	50	0.054
D-8	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-9	0.30	0.30	0.090	50	0.005
D-10	0.44	0.60	0.264	50	0.013
D-11	0.40	0.60	0.240	50	0.012
D-12	0.20	1.70	0.340	50	0.017
D-13	0.44	1.70	0.748	50	0.037
D-14	0.30	1.70	0.510	50	0.026
D-15	0.20	0.80	0.160	50	0.008
D-16	0.30	4.20	0.660	50	0.033
D-17	1.40	4.10	5.740	50	0.287
D-18	0.20	0.50	0.100	50	0.005
D-19	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-20	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-21	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-22	0.40	0.10	0.040	50	0.002
D-23	0.20	0.10	0.020	50	0.001
D-24	0.30	0.10	0.030	50	0.002
D-25	1.00	0.40	0.400	50	0.020
D-26	0.70	0.30	0.210	50	0.011
D-27	0.90	0.60	0.540	50	0.027
D-28	1.60	1.00	1.600	50	0.080
D-29	0.20	0.10	0.020	50	0.001
D-30	0.30	2.20	0.660	50	0.033
D-31	0.44	2.20	0.968	50	0.048
D-32	0.90	0.40	0.360	50	0.018
D-33	0.50	0.40	0.200	50	0.010
D-34	0.30	0.30	0.090	50	0.005
D-35	0.20	0.10	0.020	50	0.001
D-36	0.30	0.40	0.120	50	0.006
D-37	0.90	1.50	1.350	50	0.068
D-38	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-39	0.30	0.20	0.060	50	0.003
D-40	0.30	0.20	0.060	50	0.003
D-41	0.90	0.90	0.810	50	0.041
合計			19.450		0.976

## ひび割れ注入工



施工フロー図



ひび割れ注入工数量表

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)
H-1	0.50	0.40	0.30	0.094
H-2	0.80	0.80	0.30	0.300
H-3	0.60	0.80	0.30	0.225
H-4	0.30	0.60	0.30	0.084
H-5	0.60	0.80	0.30	0.225
H-6	0.30	0.30	0.30	0.042
合計		3.70		0.970

※ ひび割れ深さは構造形状からの想定

ひび割れ注入工 総計 : (延長)  $\Sigma L=3.70\text{m}$   
(注入量)  $\Sigma V=0.970\text{kg}$

※ 低圧注入管設置間隔 #300(標準)  
※ 注入量の算出要領  
 $V=1200 \times b \times h \times L \times 1.30$   
V: 注入量  
b: ひび割れ幅  
h: ひび割れ深さ  
L: ひび割れ長さ  
1200: エポキシ樹脂系注入材 比重(kg/m<sup>3</sup>)  
1.30: ロス率

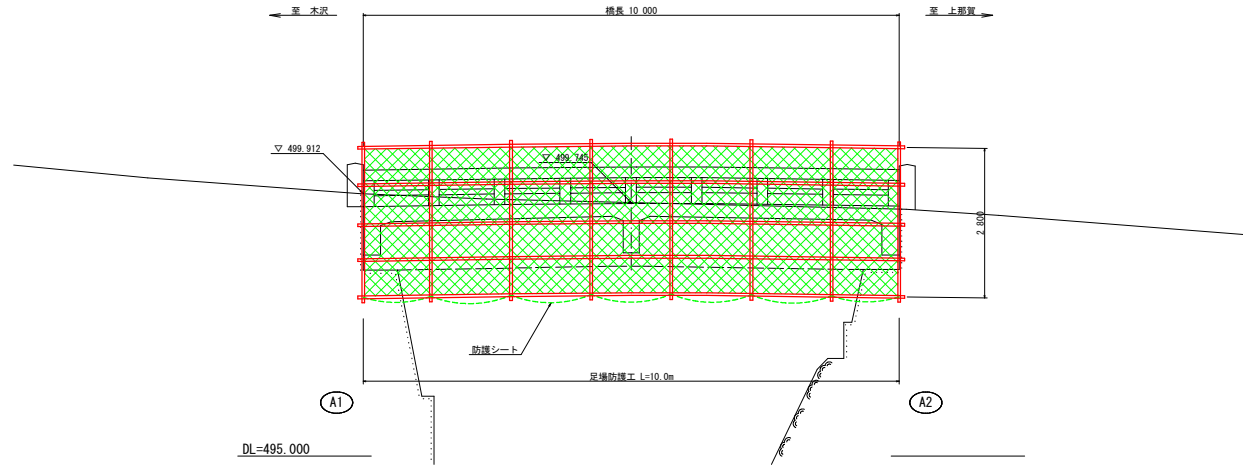
## 実施設計図面

工事名	R2郡土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁補修工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	橋梁補修工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	4 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南郡総合県民局(那賀)		

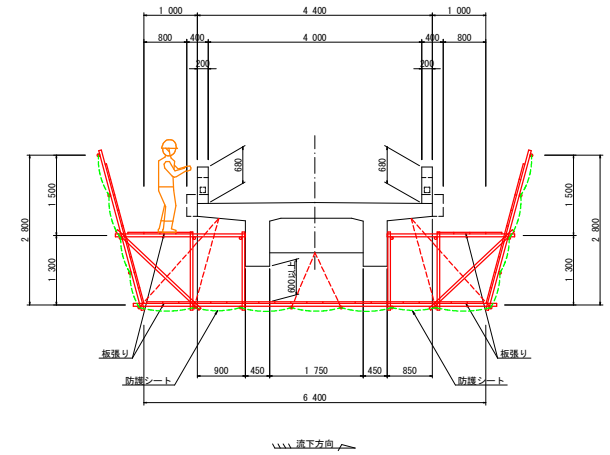
# 仮設工詳細図 S=1:50

〈吊り足場工〉

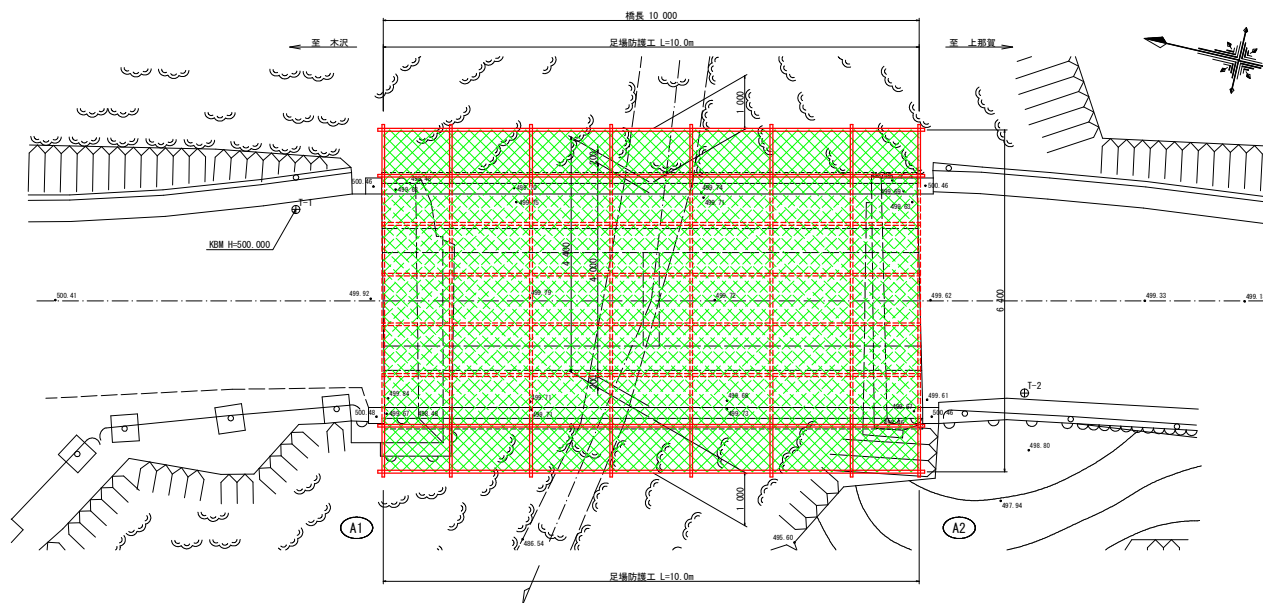
側面図



断面図



平面図



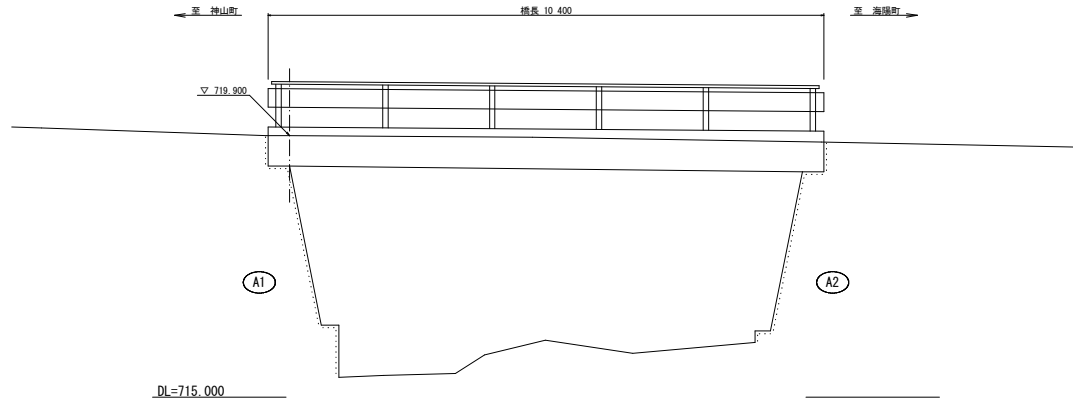
- ※) 主桁形状は、類似例からの想定したものである。
- ※) 地覆及び防護柵の取替え工事のため、足場の支点はそれら以外の部材に確保する。
- ※) 足場の幅は、取替え後の地覆幅を基準に設置するものとする。
- ※) 実施にあたっては現地に合わせて、適宜、計画の調整を行うものとする。

## 実施設計図面 (唐谷橋)

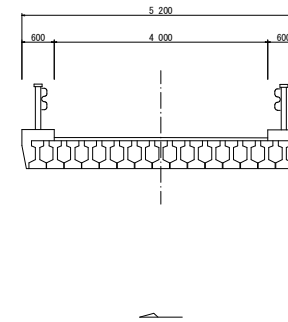
工事名	R2那土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	仮設工詳細図		
縮尺	S=1:50	図面番号	5 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局〈那賀〉		

# 無名1橋 橋梁一般図 S=1:50

## 側面図

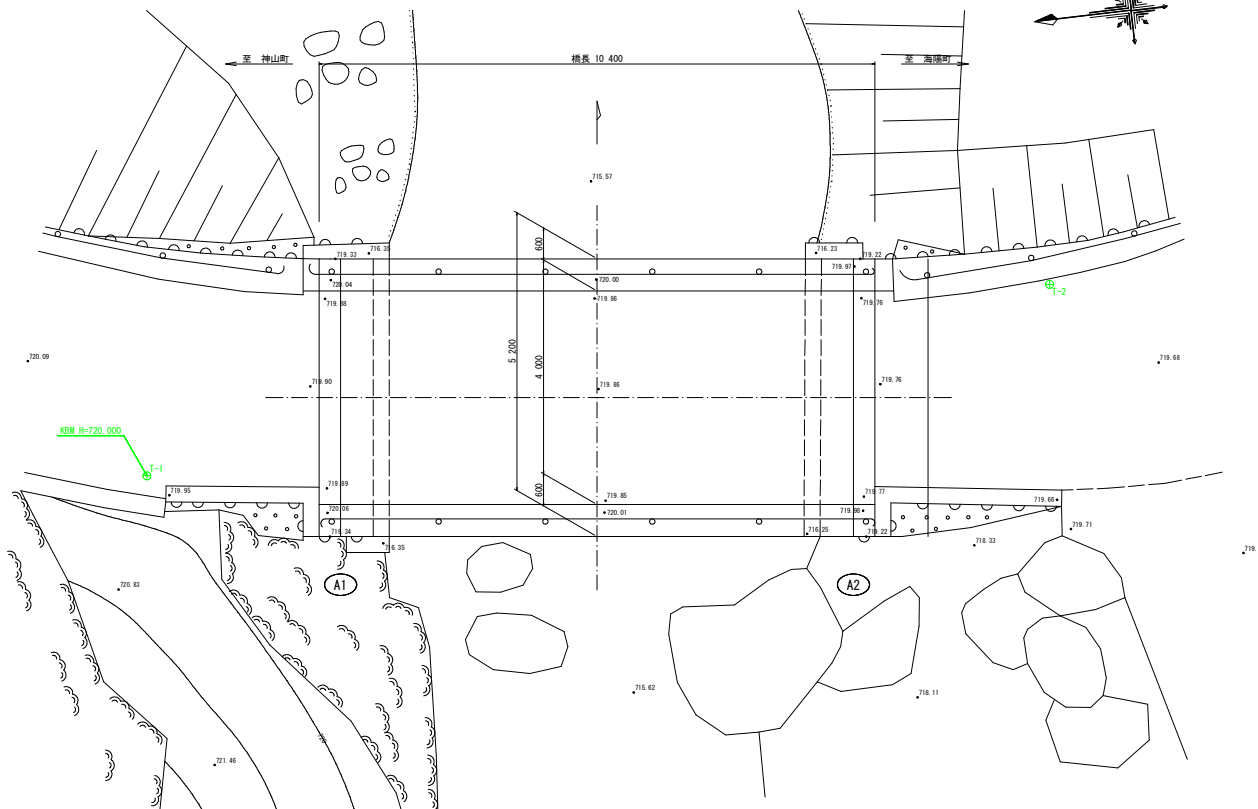


## 断面図



※) 主桁形状は、類似例からの想定したもの

## 平面図



## 橋梁概要

路線名	一般国道 193号
橋 構	二等橋(TL-9)
橋 長	10.400m
幅 員	5.200m(全幅員)
斜 角	90°(直線橋)
上部工	A1-A2径間 単純PCプレテンション床版橋
施工年次	1951年(昭和26年供用開始)
下部工	橋台 橋脚 重力式橋台(直柱基礎)
施工年次	1951年(昭和26年供用開始)
交 差 物	おおつく谷
添 加 物	防護柵(ガードレール)
適用示方書	昭和14年 鋼道路橋設計示方書(案)

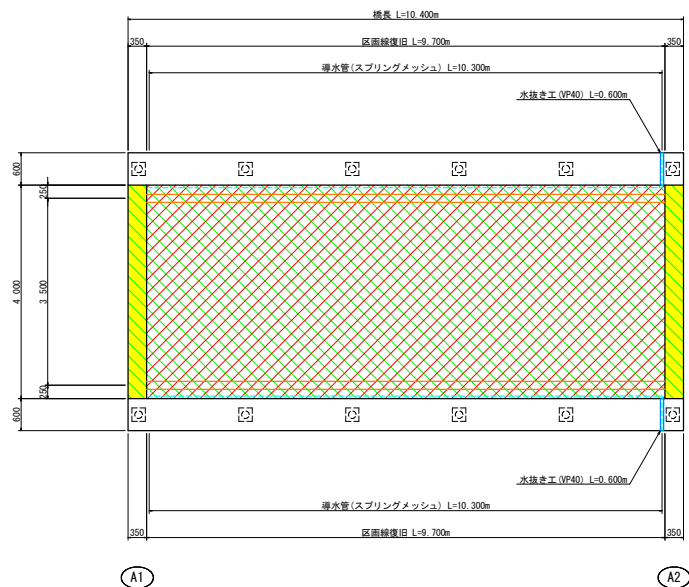
## 実施設計図面 (無名1橋)

工 事 名	R2郡土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図 面 名	橋梁一般図		
縮 尺	S=1:50	図面番号	6 / 22
会 社 名			
事業者名	徳島県南総合県民局<那賀>		

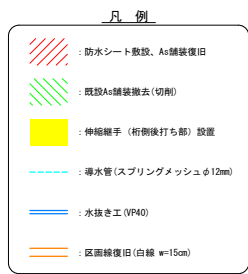
※) 図中の水準高さは任意とする。

# 橋面防水工敷設工詳細図

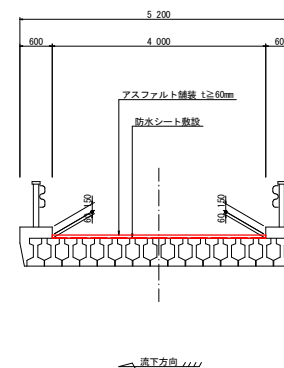
平面図 S=1:50  
(橋面)



↓ 流下方向



断面図 S=1:50



舗装打換工 (アスファルト舗装)

	算式	数量	備考
撤去	$A = 4.00 \times 10.40$	41.6 m <sup>2</sup>	As: t ≥ 60mm
復旧	$A = 4.00 \times 9.70$	38.8 m <sup>2</sup>	

水抜き工 (VP管φ40)

	算式	数量	備考
面積	$L = 0.6 + 0.6$	1.2 m	VP管φ40

橋面防水工 (シート系防水)

	算式	数量	備考
面積	$A = 4.00 \times 9.70$	38.8 m <sup>2</sup>	

床版排水工 (導水管: スプリングメッシュφ12mm)

	算式	数量	備考
延長	$L = 10.3 + 10.3$	20.6 m	

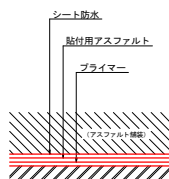
目地材 (成形目地材 厚5mm 幅30mm)

	算式	数量	備考
延長	$L = 10.3 + 10.3$	20.6 m	

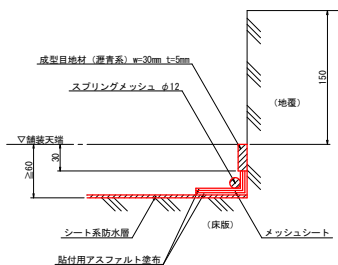
区画線工 (外側線復旧、白色、幅15cm)

	算式	数量	備考
延長	$L = 9.7 + 9.7$	19.4 m	

シート防水標準構成図 S=1:3

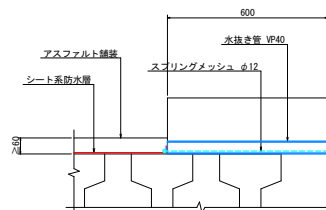


地覆部詳細構造 S=1:3

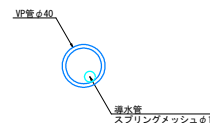


水抜き工構造図

地覆部断面図 S=1:10



水抜き管断面図 S=1:3



※ 導水管流束の水抜き工 (VP管φ40) は、地覆取替工の施工時に設置する。

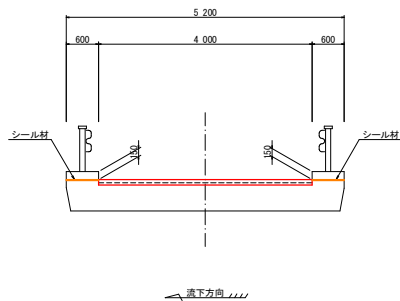
## 実施設計図面 (無名1様)

工事名	R2郡土 木次上那賀線他 (唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	橋面防水工敷設工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	7 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(那賀)		

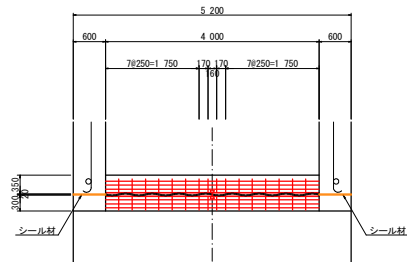
# 伸縮継手取替え工詳細図

A 1 橋台 S=1:50

断面図

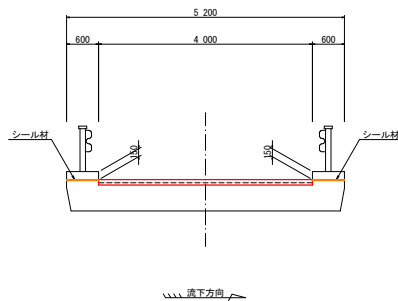


平面図

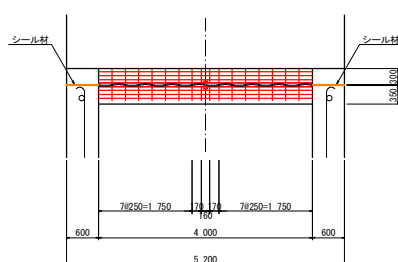


A 2 橋台 S=1:50

断面図

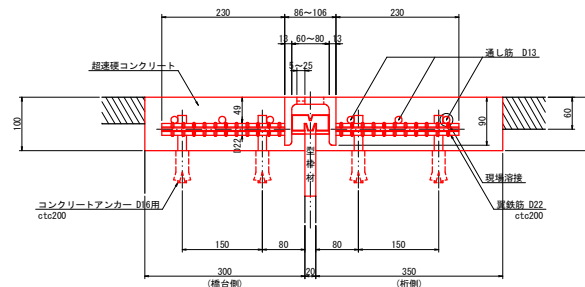


平面図

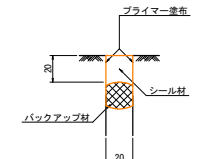


伸縮継手断面図 S=1:5

車道用(設計伸縮量20mm対応)



シール材充填図 S=1:2

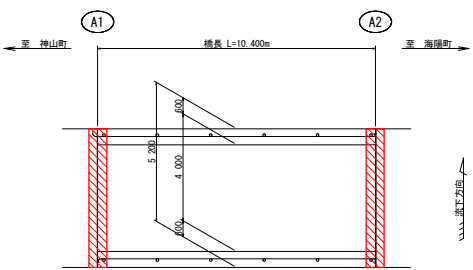


伸縮継手材料表

名称	材質	A1側	A2側	合計	備考
車道用伸縮継手 (荷重支持型、設計伸縮量20mm対応)	SS400, SD345 弾性シール材 樹脂系接着剤	4,000 m	4,000 m	8,000 m	車道用、通し筋を含む
シール材	シリコン系	0.48 l	0.48 l	0.96 l	地覆部
後打コンクリート	超速硬コンクリート	0.260 m <sup>3</sup>	0.260 m <sup>3</sup>	0.520 m <sup>3</sup>	
コンクリートアンカー D16用		64 本	64 本	128 本	

※) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。  
 ※) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。

位置図



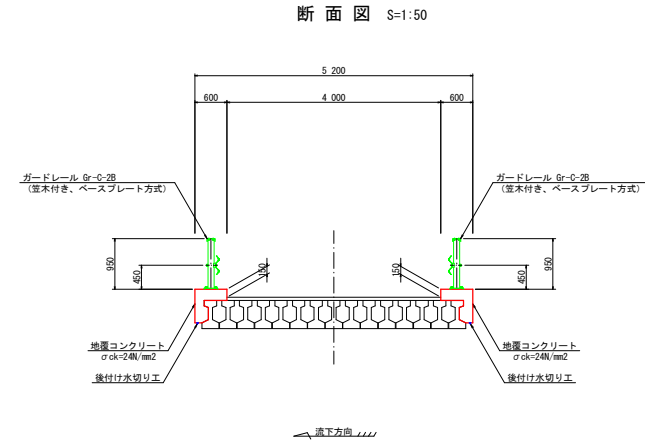
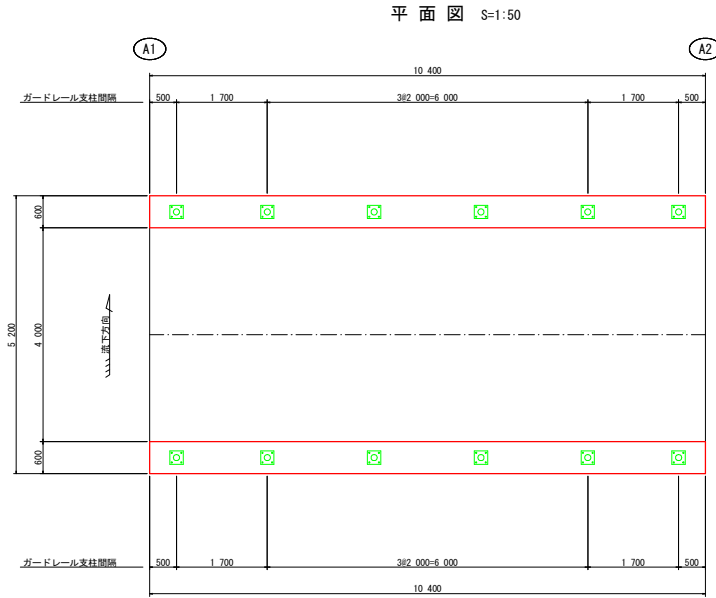
## 実施設計図面

(無名1様)

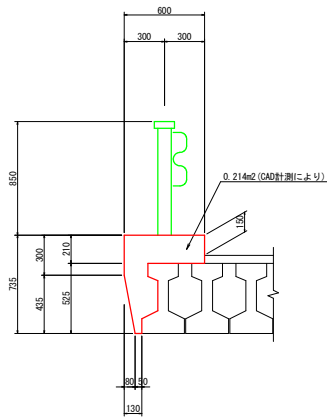
工事名	R2那土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	伸縮継手取替え工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	8 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南総合県民局<那賀>		



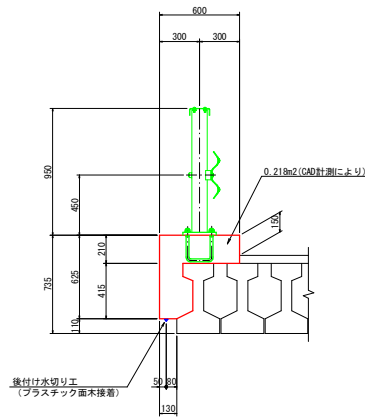
# 地覆防護柵取替え工詳細図



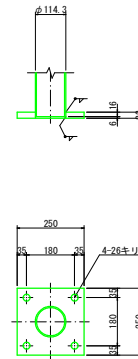
(撤去) 既設地覆防護柵 S=1:20



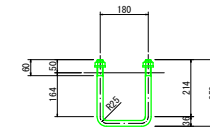
地覆防護柵詳細 S=1:20



ベースプレート S=1:10



Uボルトアンカー S=1:10



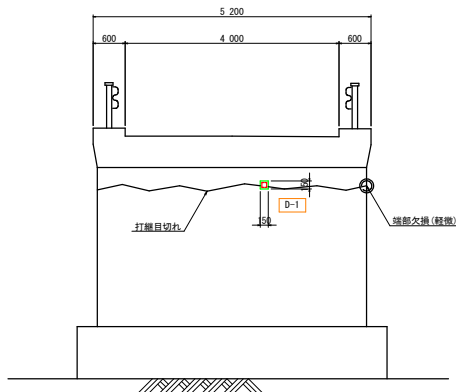
- ※) 既設の地覆はコンクリートのみを撤去し、内部鉄筋はそのまま使用する。
- ※) 内部鉄筋の錆等は適切に除去し、防錆処理を施す。
- ※) 防護柵の仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び鉄筋露出後、再検討の上で決定すること。
- ※) 地覆取替えは、既設撤去後に確認する主桁形状に合わせて、再検討の上で決定すること。

## 実施設計図面 (無名1様)

工事名	R2那土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	地覆防護柵取替え工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	9 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(那賀)		

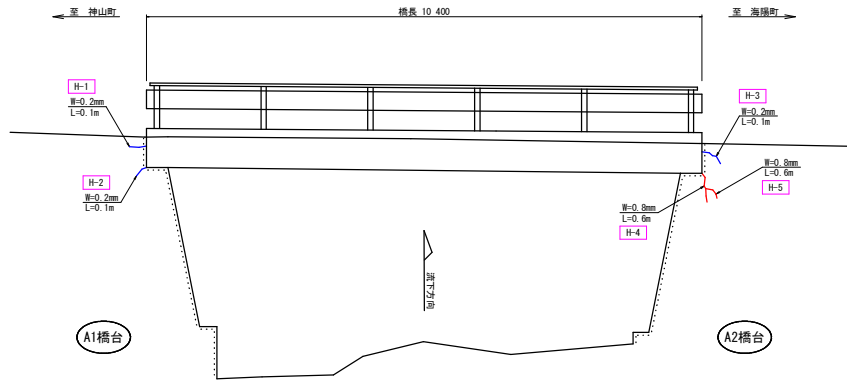
# 橋台補修工詳細図

A1橋台正面図

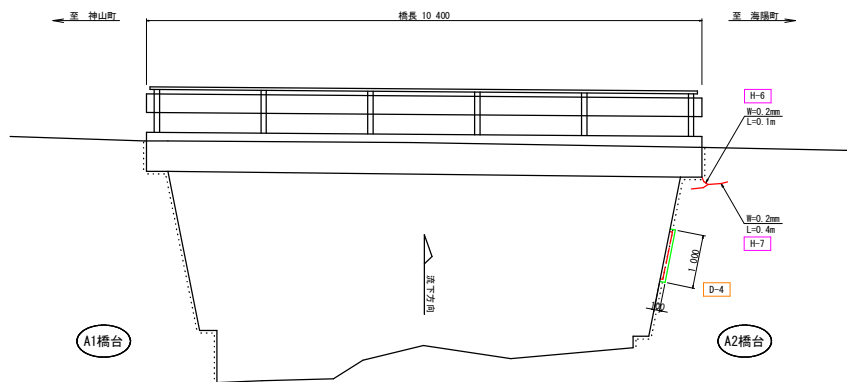


流下方向

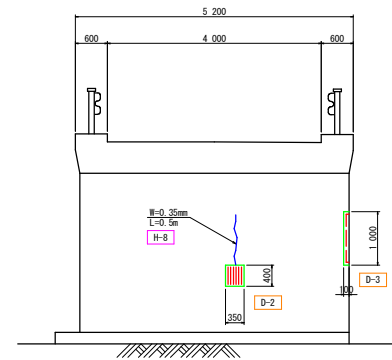
側面図  
(上流側)



側面図  
(下流側)

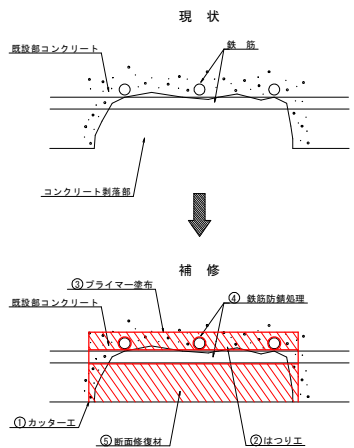


A2橋台正面図



流下方向

断面修復工  
(左官工法)



施工フロー図

- ① コンクリートはつり
  - ・はつり範囲をカッターで切断。
  - ・電動ドリルを用いてコンクリート劣化部をはつる。
- ② 鉄筋ケレン
  - ・ファイヤーブラシ等により鉄筋表面の錆を落とす。
- ③ 鉄筋防錆処理
  - ・ケレン後、鉄筋表面に刷毛を用いて鉄筋防錆材を塗布する。
- ④ 断面修復

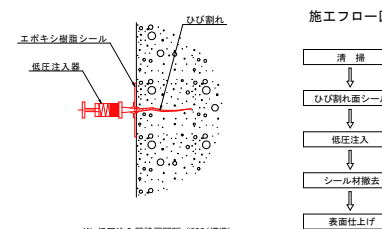
- 1) コテ塗りは空隙を残さないように丁寧に施工する。
- 2) 1回の塗り厚さは断面修復材の仕様の塗り厚さに従い、何層かに分けて施工する。

断面修復工数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	面積(m <sup>2</sup> )	厚さ(mm)	数量(m <sup>3</sup> )
D-1	0.15	0.15	0.023	50	0.001
D-2	0.25	0.40	0.100	50	0.005
D-3	0.10	1.00	0.100	50	0.005
D-4	0.10	1.00	0.100	50	0.005
合計			0.363		0.018

断面修復工 総計 : (面積) ΣA=0.363m<sup>2</sup>  
(修復材) ΣV=0.018m<sup>3</sup>

ひび割れ注入工



施工フロー図

- ① 清掃
- ② ひび割れ面シール
- ③ 低圧注入
- ④ シール材除去
- ⑤ 表面仕上げ

※ 低圧注入器設置間隔 ③300(標準)  
 ※ 注入量の算出要領  
 $V=1200bh+L=1.30$   
 V: 注入量  
 b: ひび割れ幅  
 h: ひび割れ深さ  
 L: ひび割れ長さ  
 1200: エポキシ樹脂系注入材 比重 (kg/m<sup>3</sup>)  
 1.30: ロス率

ひび割れ注入工数量表

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)
H-1	0.20	0.10	0.30	0.009
H-2	0.20	0.10	0.30	0.009
H-3	0.20	0.10	0.30	0.009
H-4	0.80	0.60	0.30	0.225
H-5	0.80	0.60	0.30	0.225
H-6	0.20	0.10	0.30	0.009
H-7	0.20	0.40	0.30	0.037
H-8	0.35	0.50	0.30	0.082
合計		2.50		0.605

※ ひび割れ深さは躯体構造からの想定

ひび割れ注入工 総計 : (延長) ΣL=2.500m  
(注入量) ΣV=0.605kg

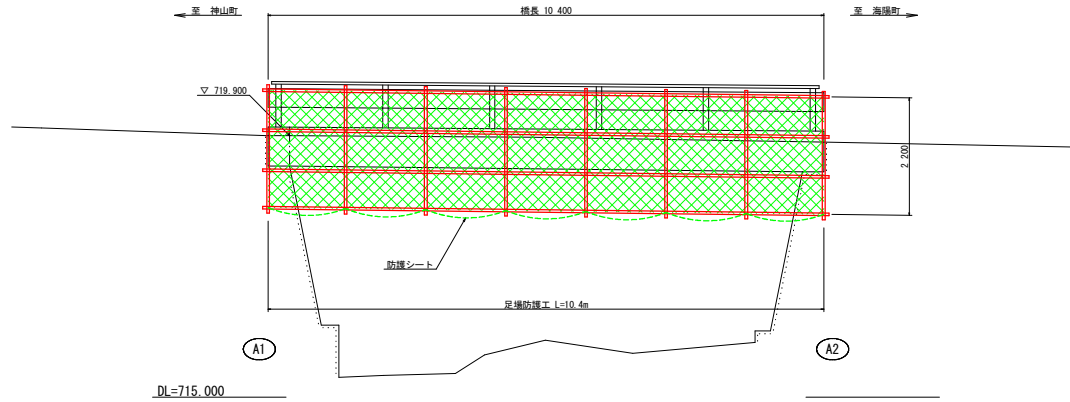
実施設計図面  
(無名1様)

工事名	R2那土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁補修工事
路線名等	一般国道 木次上那賀線他
工事箇所	那賀郡那賀町川成他
図面名	橋台補修工詳細図
縮尺	図示 図面番号 10 / 22
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局(那賀)

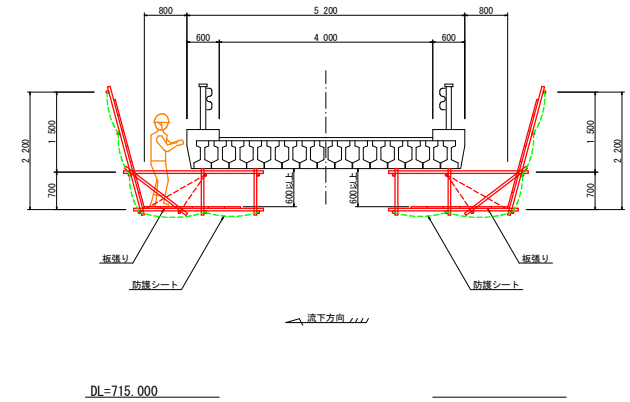
# 仮設工詳細図 S=1:50

〈地覆及び防護柵取替え時〉

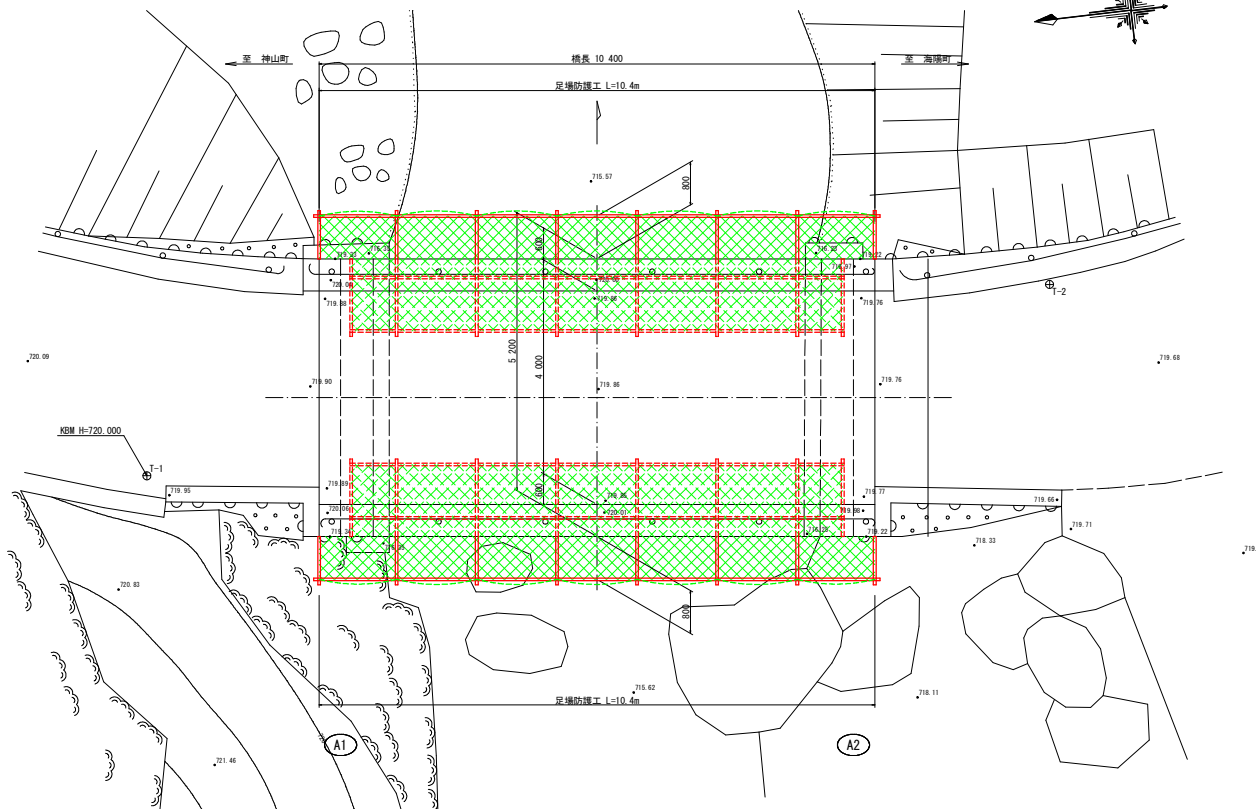
側面図



断面図



平面図



- ※) 主桁形状は、類似例からの想定したものである。
- ※) 地覆及び防護柵の取替え工事のため、足場の支点はそれ以外の部材に確保する。
- ※) 実施にあたっては現地に合わせて、適宜、計画の調整を行うものとする。

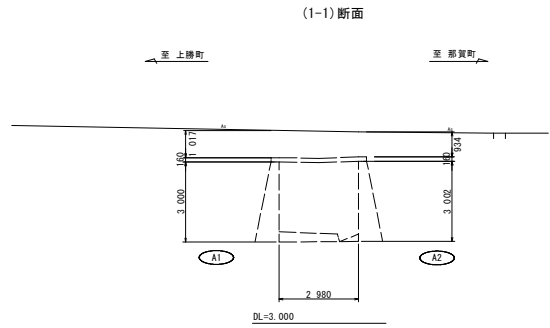
- ※) 図中の水準高さは任意とする。
- ※) 本図は参考であり、実施にあたっては現地状況と資材に適した足場構築を行うものとする。
- ※) 足場の設置は、非出水期（11月～翌 5月）を基本とする。

## 実施設計図面 (無名1巻)

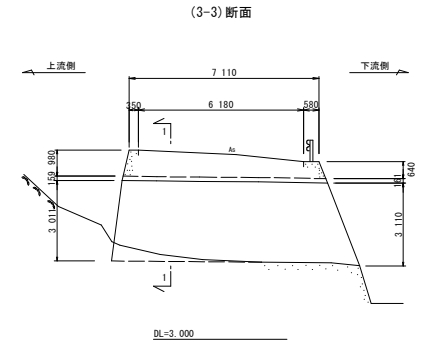
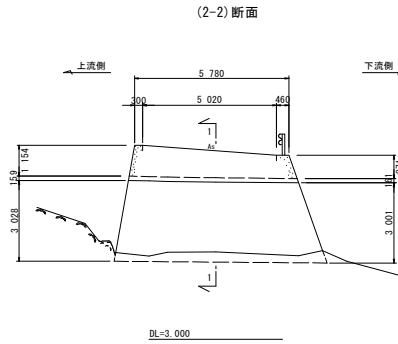
工事名	R2郡土 木次上那賀線他（唐谷橋他4橋） 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	仮設工詳細図		
縮尺	S=1:50	図面番号	11 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局〈那賀〉		

# 赤城原6号橋 橋梁一般図

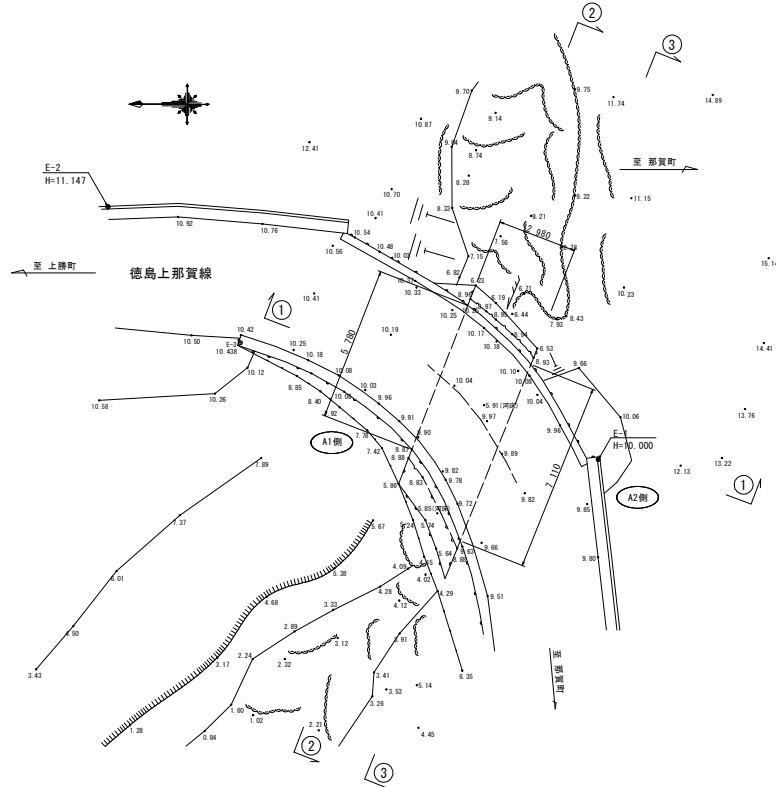
側面図 S=1:100



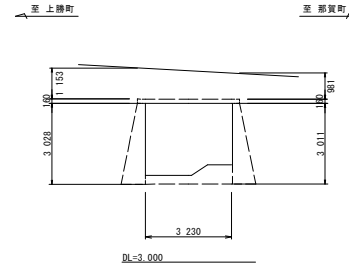
断面図 S=1:100



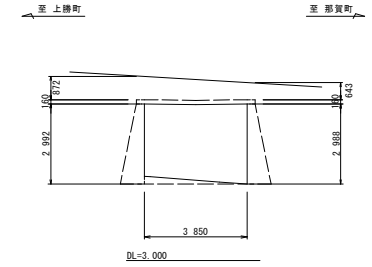
平面図 S=1:100



上流側断面



下流側断面



## 橋梁概要

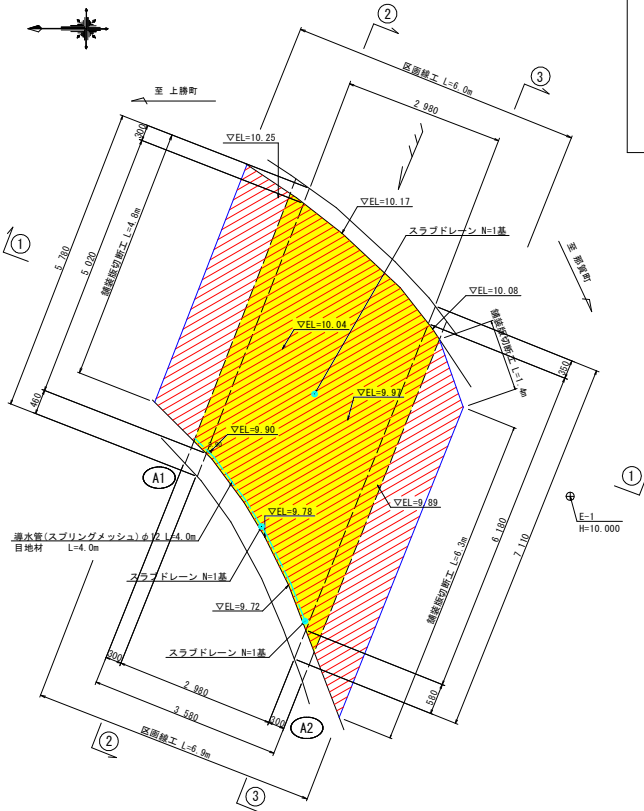
路線名	主要地方道 徳島上那賀線	
橋格	二等橋 (TL-14 昭和39年鋼道路橋設計方書)	
橋長	3,600m	
幅員	5,020~6,180m (車道有効幅員)	
上部工	A1-A2径間	RC床版
	施工年次	昭和40年度 (1965年)
下部工	橋台・橋脚	重力式橋台
	施工年次	昭和40年度 (1965年)
交差物	無名谷	
添架物	なし	

## 実施設計図面 (赤城原6号橋)

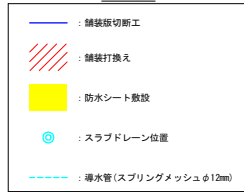
工事名	R2郡土 木次上那賀線他 (唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般県道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	12 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

# 舗装打換え・橋面防水工計画図

平面図 S=1:50



凡例



舗装板切斷工(アスファルト舗装) 舗装厚40mm

算式	数量	備考
延長 L=4.8+6.3+1.4	12.5 m	

舗装撤去工(アスファルト舗装) 舗装厚40mm

算式	数量	備考
面積 A=平面図よりCADで求精	30.05 m <sup>2</sup>	

舗装復旧工(アスファルト舗装) 表層50mm、上層路盤100mm、下層路盤100mm

算式	数量	備考
面積 A=平面図よりCADで求精	30.05 m <sup>2</sup>	

区画線工(溶融式区画線) 白色 W=15cm

算式	数量	備考
延長 L=6.0+6.9	12.9 m	

舗装工(防水シート上) 表層40mm

算式	数量	備考
面積 A=4.48+1/2*(5.02+6.18)	25.09 m <sup>2</sup>	

橋面防水工(シート系防水)

算式	数量	備考
面積 A=19.83(平面図0.40求精)+0.28+2+1.20	26.10 m <sup>2</sup>	

床版排水工(排水管:スプリングメッシュφ12mm)

算式	数量	備考
延長 L=4.0	4.0 m	

コンクリート削孔(削孔径:φ50mm)

算式	数量	備考
延長 L=3+0.16	0.5 m	

スラブドレーン(削孔径:φ50mm)

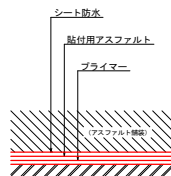
算式	数量	備考
基数 (床版厚160mm対応)	3 基	

目地材

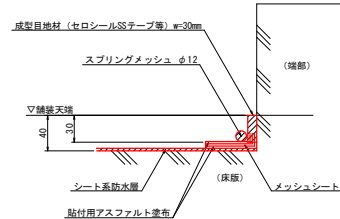
算式	数量	備考
延長 L=4.0	4.0 m	

※ スラブドレーンは設置に先だって鉄筋の鉄筋探査を行い、鉄筋に干渉しないように適宜配置位置の調整を行うこと。  
 ※ 床版厚は施工時に再度測定した後、排水管やスラブドレーンの規格を決定すること。

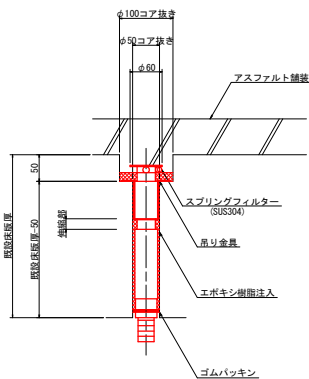
シート防水標準構成図 S=1:3 (参考)



端部詳細構成図 S=1:3 (参考)



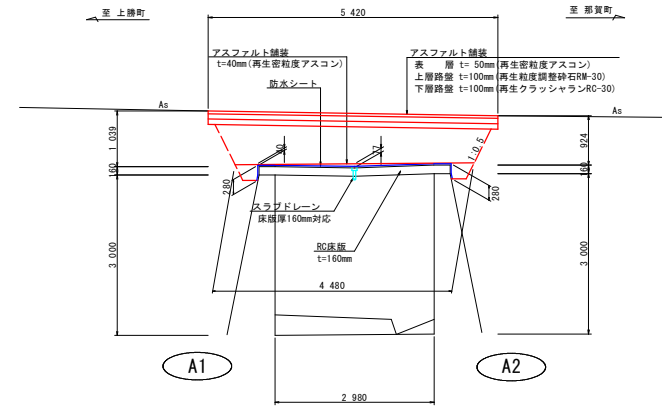
スラブドレーン詳細 S=1:5 (参考)



※ 図は参考であり、実物においては同等以上の性能を有する製品を使用すること。  
 ※ 床版厚160mmに対応した製品を使用すること。

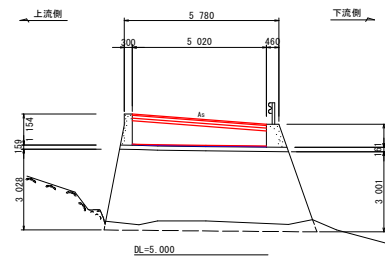
断面図 S=1:50

(1-1)断面



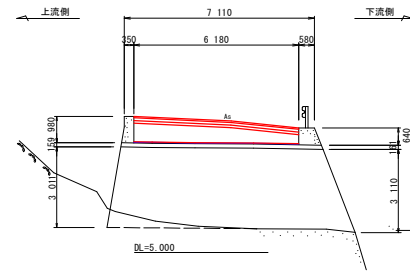
側面図 S=1:100

(2-2)断面



名称	数量
床版(土砂)	4.9
埋戻(4m以上)	3.7

(3-3)断面



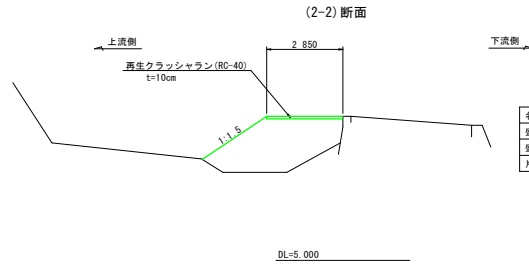
名称	数量
床版(土砂)	4.9
埋戻(4m以上)	3.4

実施設計図面 (赤城原6号橋)

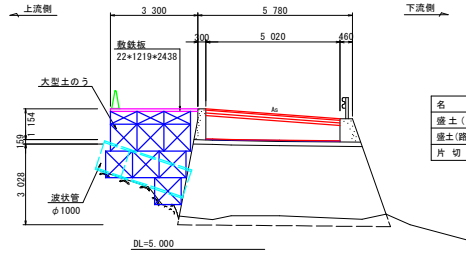
工事名	R2郡土木沢上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木沢上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	舗装打換え・橋面防水工計画図		
縮尺	図示	図面番号	13 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合市民局<那賀>		

# 施工計画図 (参考)

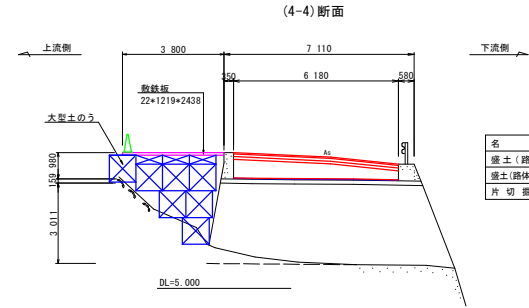
断面図 S=1:100



名	称	数量
盛土(路体) 2.5m未満	—	—
盛土(路体) 2.5以上4.0m未満	—	7.4
片切掘削(土砂)	—	—

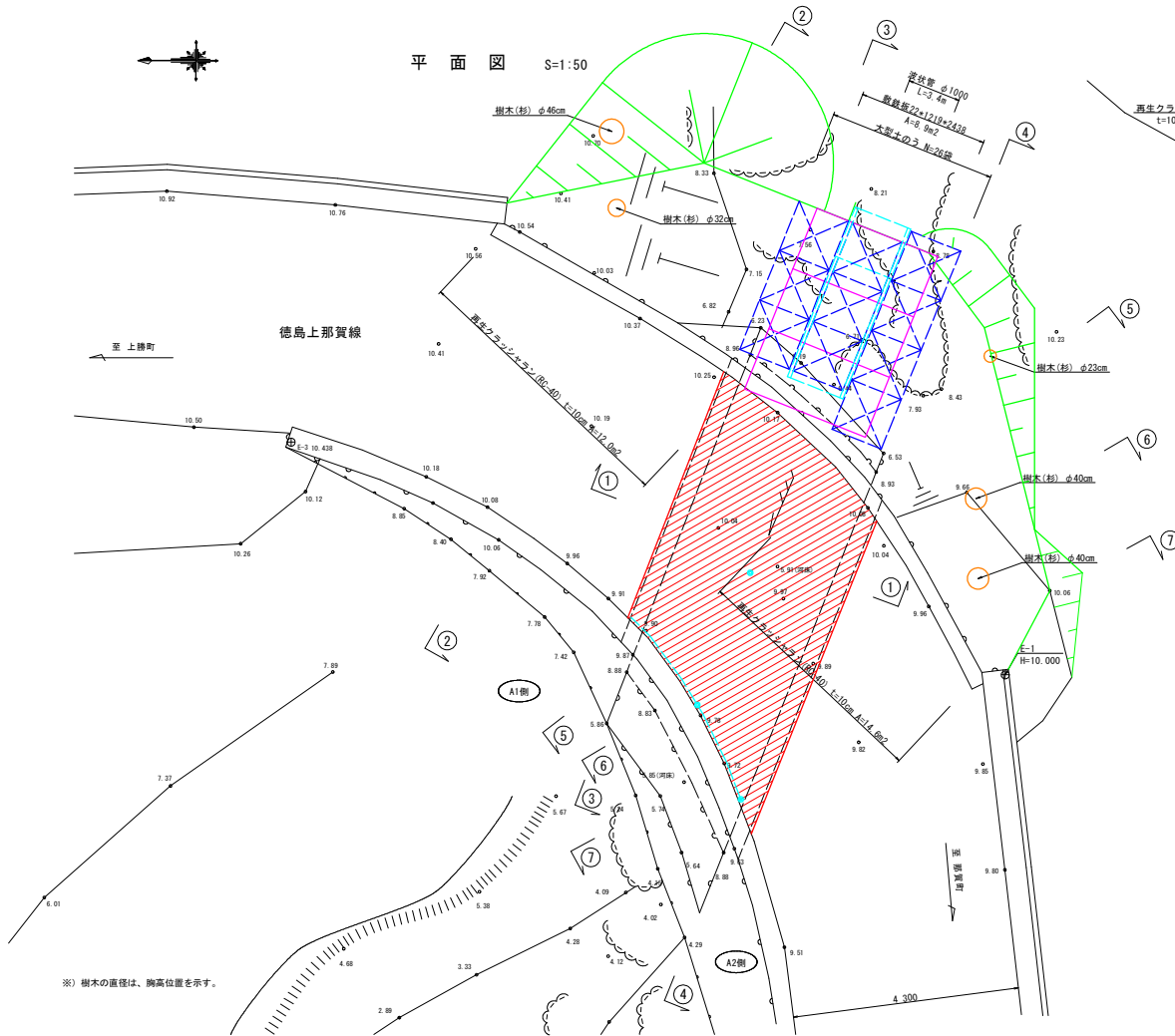


名	称	数量
盛土(路体) 2.5m未満	—	—
盛土(路体) 2.5以上4.0m未満	—	—
片切掘削(土砂)	—	—

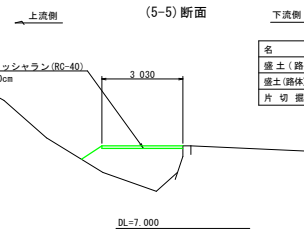


名	称	数量
盛土(路体) 2.5m未満	—	—
盛土(路体) 2.5以上4.0m未満	—	—
片切掘削(土砂)	—	—

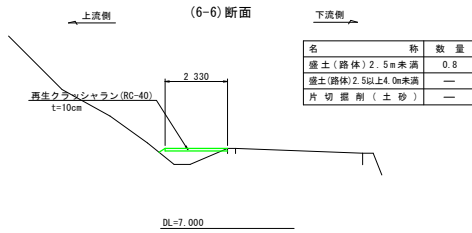
平面図 S=1:50



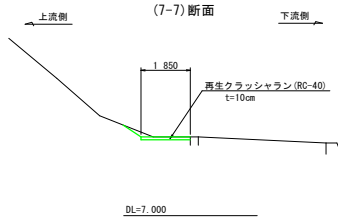
※) 樹木の直径は、胸高位置を示す。



名	称	数量
盛土(路体) 2.5m未満	—	4.0
盛土(路体) 2.5以上4.0m未満	—	—
片切掘削(土砂)	—	—

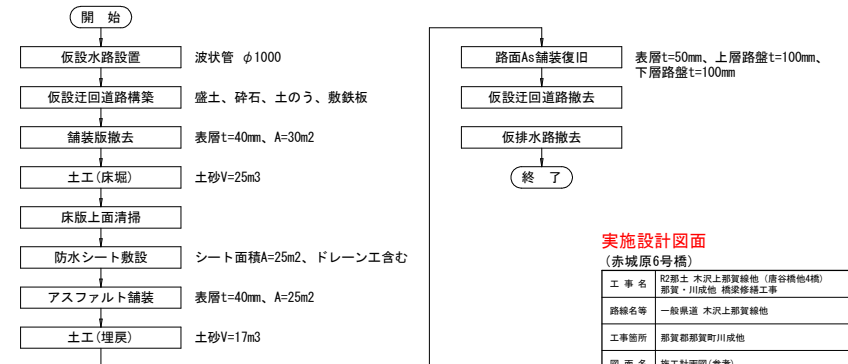


名	称	数量
盛土(路体) 2.5m未満	—	0.8
盛土(路体) 2.5以上4.0m未満	—	—
片切掘削(土砂)	—	—



名	称	数量
盛土(路体) 2.5m未満	—	—
盛土(路体) 2.5以上4.0m未満	—	—
片切掘削(土砂)	—	0.3

## 概略施工手順



## 実施設計図面 (赤城原6号橋)

工事名	R2那土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	施工計画図(参考)		
縮尺	図示	図面番号	14 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

注1) 床版面の水分を除去するため、施工は、天候が安定する期間を選定し行うこと。

注2) 仮設迂回道路は、小型車を対象としてあるため、緊急車両等中型車が通過する場合は誘導で対応を行うこと。

# よろい谷橋 橋梁一般図

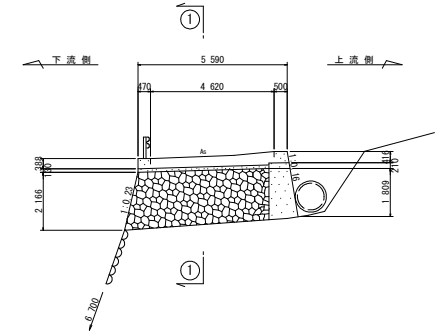
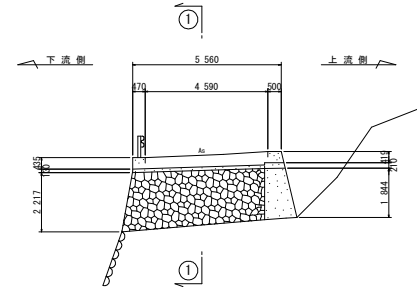
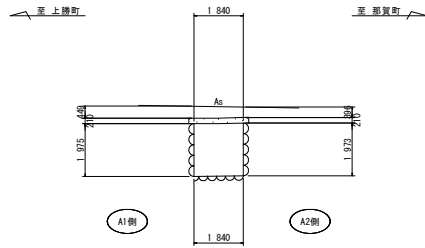
側面図 S=1:100

断面図 S=1:100

(1-1) 断面

(2-2) 断面

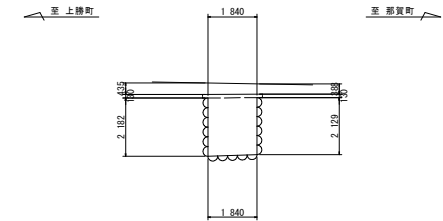
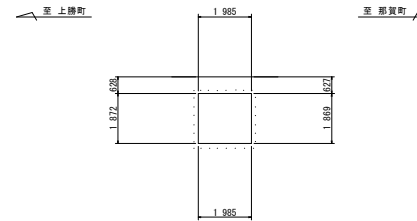
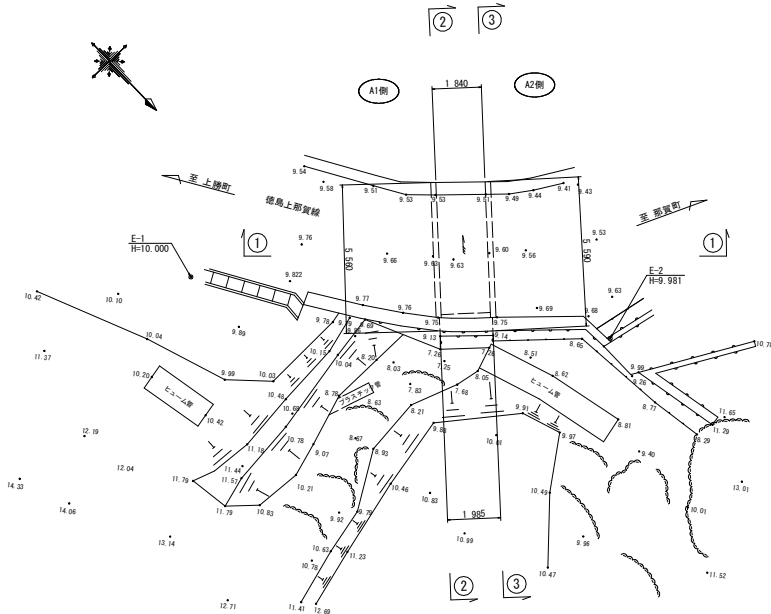
(3-3) 断面



平面図 S=1:100

上流側断面

下流側断面



## 橋梁概要

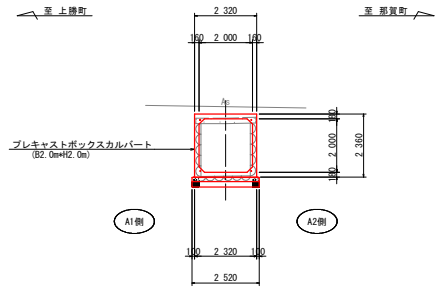
路線名	主要地方道 徳島上那賀線
橋格	二等橋(昭和14年鋼道路橋設計示方書)
橋長	2.200m
幅員	4.600m(車道有効幅員)
上部工	A1-A2径間 RC床版橋
	施工年次 昭和26年度(1951年)
下部工	橋台・橋脚 重力式橋台、石積み(空)
	施工年次 昭和26年度(1951年)
交差物	無名谷
添架物	なし

## 実施設計図面 (よろい谷橋)

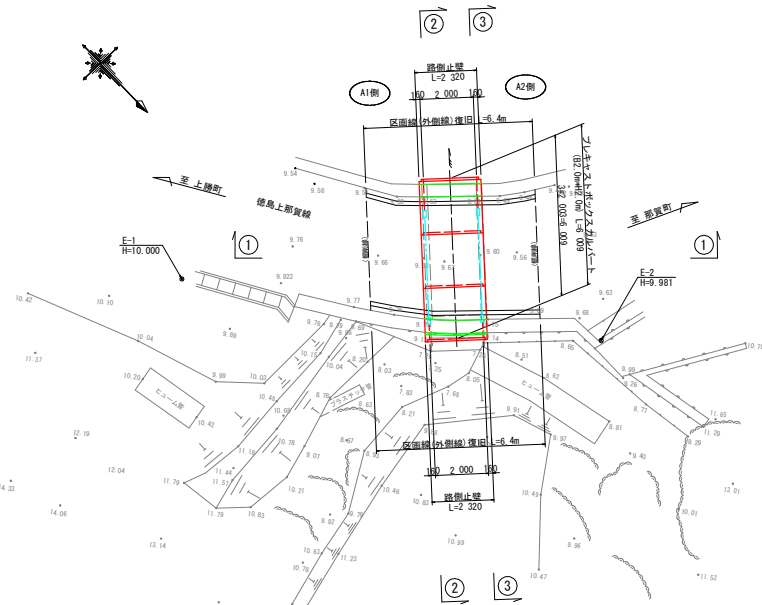
工事名	R2郡土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	那賀線 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	橋梁一般図		
縮尺	1:100	図面番号	15 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

# ボックスカルバート一般図

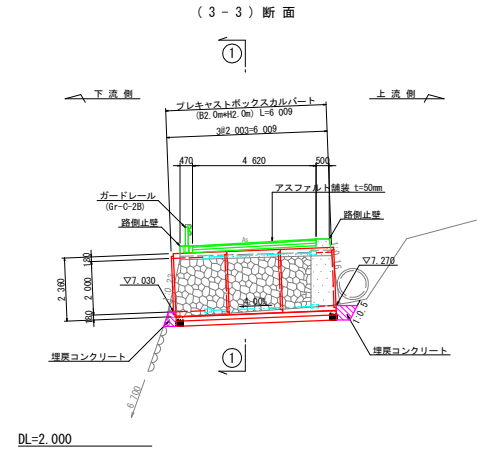
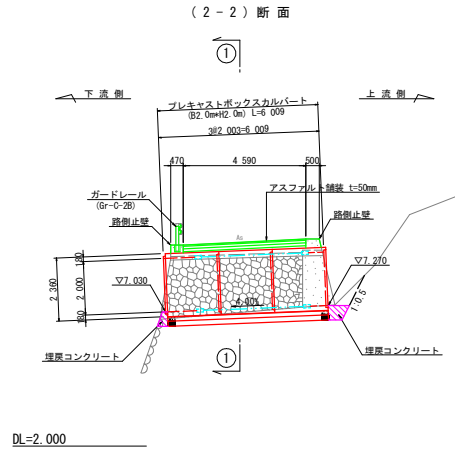
側面図 S=1:100



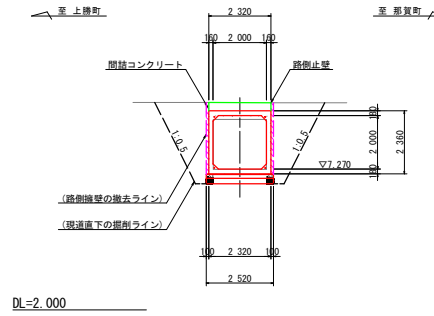
平面図 S=1:100



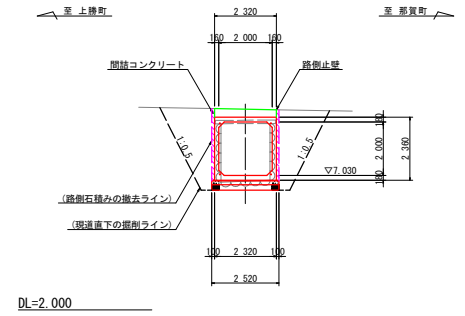
断面図 S=1:100



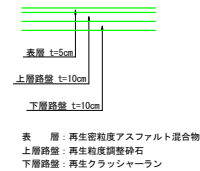
上流側断面



下流側断面



舗装構成 S=1:30



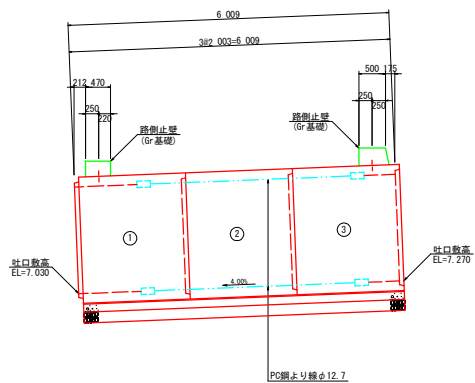
## 実施設計図面 (よろい谷橋)

工事名	R2那土 木沢上那賀線他 (唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木沢上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	ボックスカルバート一般図		
縮尺	図示	図面番号	16 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局〈那賀〉		

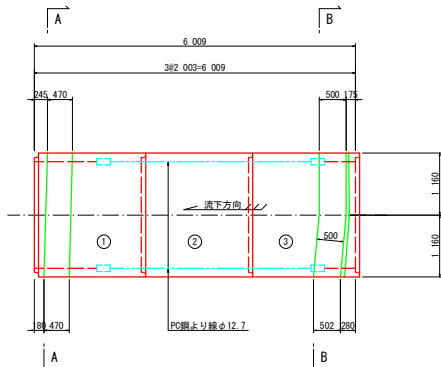


# ボックスカルバート構造図

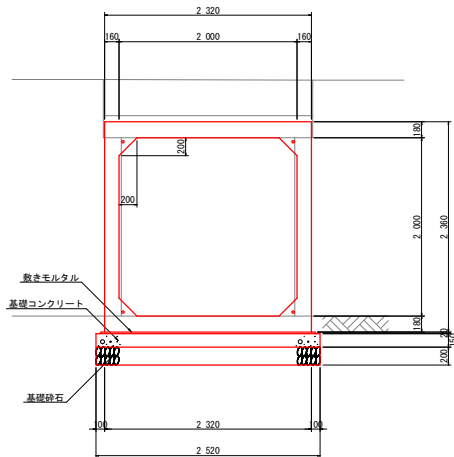
縦断面図 S=1:50  
(ボックス構造中心)



平面図 S=1:50

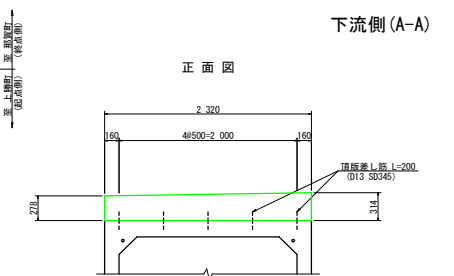


標準断面図 S=1:30

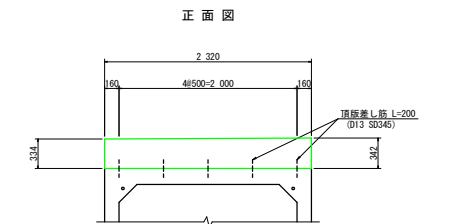


路側止壁展開図 S=1:30  
(ガードレール基礎)

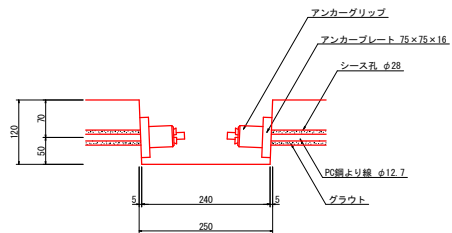
下流側 (A-A)



上流側 (B-B)



定着部詳細図 S=1:5

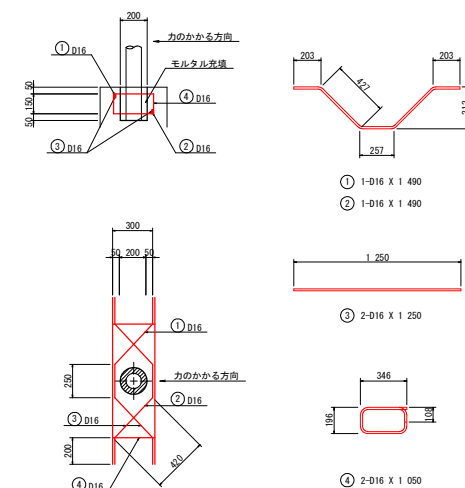


種別	幅	高さ	長さ	数量	番号	備考
基本	2 000	2 000	2 000	1	②	参考質量 7.789kg/基
基本	2 000	2 000	2 000	2	①③	定着部付、頂版差し筋 L=200付 (D13 SD345)
合計				3		

名称	算式	単位	数量
敷きモルタル	$0.02 \times 1/2 \times (2.40 + 2.44) \times 6.01$	m <sup>3</sup>	0.29
基礎コンクリート	$0.15 \times 2.52 \times 6.01$	m <sup>3</sup>	2.27
同上型枠	$0.15 \times 2 \times 6.01$	m <sup>2</sup>	1.80
基礎砕石 (t=200)	$2.52 \times 6.01$	m <sup>2</sup>	15.15

種類	単位	数量	備考
PC鋼より線	φ12.7mm	m	20.8
定着金具	セット	8	アンカープレート、グリップ

ガードレール補強筋 S=1:20



名称	数量
鉄筋 (D16)	11.82 kg
モルタル	0.005 m <sup>3</sup>

鉄筋重量表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	概要
1	D16	1 490	1	1.56	2.32	2.32	~
2	D16	1 490	1	1.56	2.32	2.32	~
3	D16	1 250	2	1.56	1.95	3.90	~
4	D16	1 050	2	1.56	1.64	3.28	□
							11.82
合計 D16						11.82 kg	
総質量						11.82 kg	

路側止壁数量表 (下流側)

名称	算式	単位	数量
コンクリート	$1/2 \times (0.296 + 0.277) \times 0.470 \times 2.320$	m <sup>3</sup>	0.31
型枠	$(0.296 + 0.277) \times 2.320$	m <sup>2</sup>	1.33

路側止壁数量表 (上流側)

名称	算式	単位	数量
コンクリート	$1/2 \times (0.338 + 0.318) \times 0.500 \times 1/2 \times (0.318 + 0.064) \times 2.320$	m <sup>3</sup>	0.40
型枠	$(0.338 + 0.318 \times 1.019804) \times 2.320$	m <sup>2</sup>	1.54

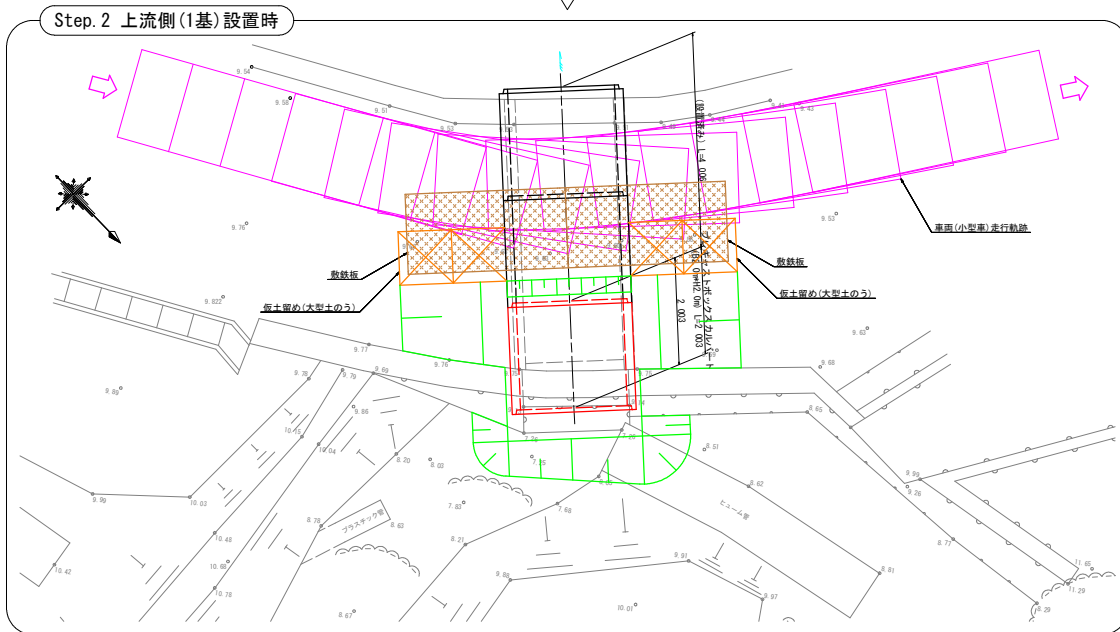
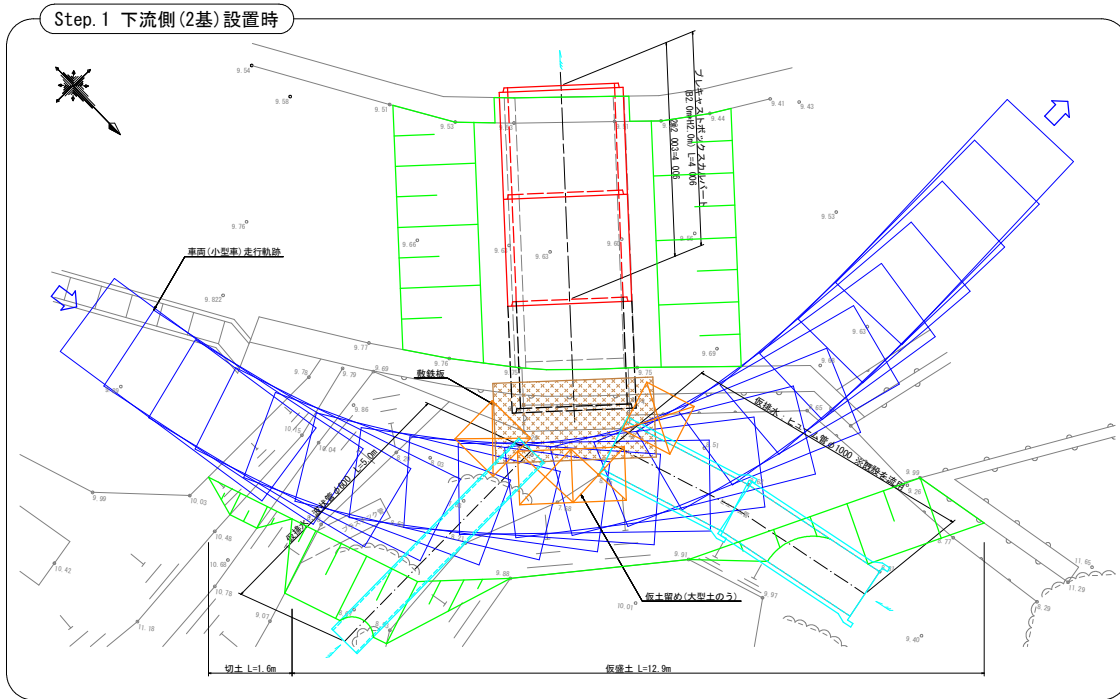
※ 上流側止壁の前部勾配は、連続する路側擁壁と整合させる。

※ 頂版差し筋は、プレキャストボックス製作時にあらかじめ取り付ける。

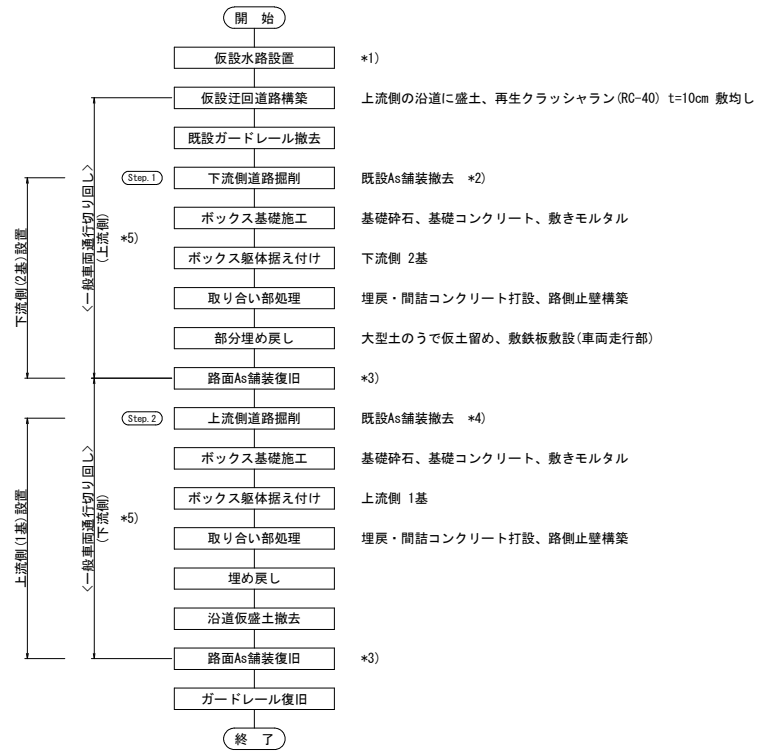
## 実施設計図面 (よろい谷橋)

工事名	R2郡土 木次上野賀線他 (唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上野賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	ボックスカルバート構造図		
縮尺	図示	図面番号	17 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南総総合市民局〈那賀〉		

# 施工計画図

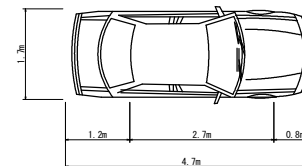


## 概略施工手順



- \*1) 起点側(上勝町側)の谷筋には、波状管φ600を設置  
終点側(那賀町側)は、既設ヒューム管φ1000を流用  
現道開孔部との取り合いは、大型土のうの積み上げで適宜対応
- \*2) 既設の石積みとGR基礎部は最小限(ボックス落とし込みに必要な幅のみ)撤去  
ボックス設置後、間隙を充填
- \*3) 舗装復旧はボックス設置が全て終了してからでも一括施工が可能
- \*4) 既設の路側擁壁とGR基礎部は最小限(ボックス落とし込みに必要な幅のみ)撤去  
ボックス設置後、間隙を充填
- \*5) 仮設迂回道路は小型車を対象としているため、緊急車両等の中型車が通過する場合は、誘導で対応を行うこと。

走行軌跡の対象車両：小型車

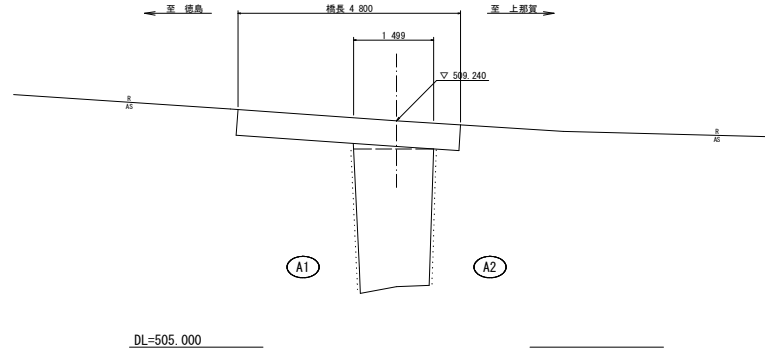


## 実施設計図面 (よろい谷橋)

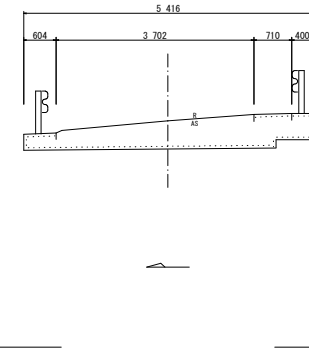
工 事 名	R2那土 木沢上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木沢上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図 面 名	施工計画図	図面番号	18 / 22
縮 尺	-	図面番号	18 / 22
会 社 名			
事業者名	徳島県南総合企画民局<那賀>		

つえ谷橋 橋梁一般図 S=1:50

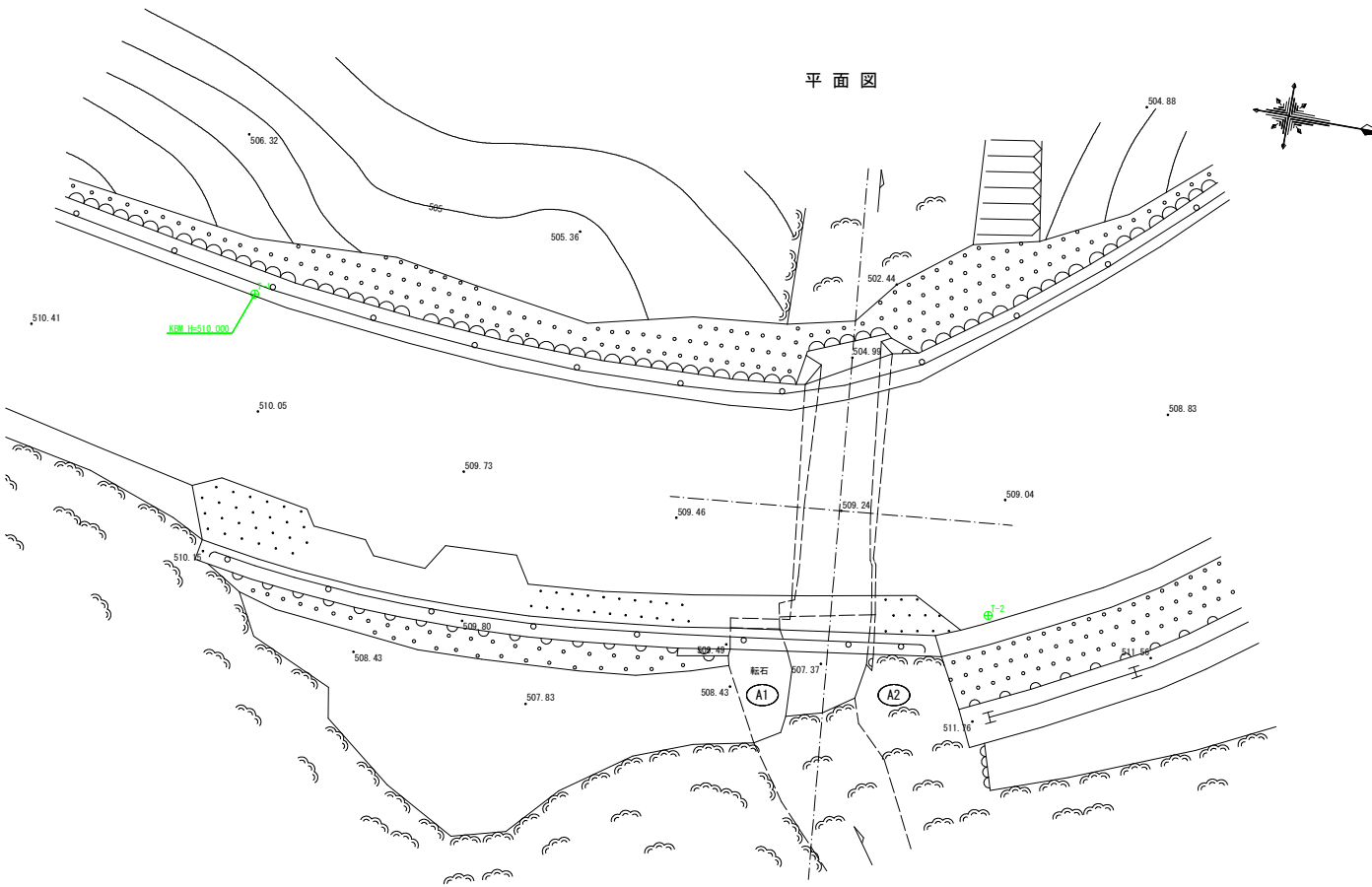
側面図



断面図



平面図



橋梁概要

路線名	主要地方道 徳島上那賀線
橋 種	二等橋(TL-14)
橋 長	4,800m
幅 員	5,200m(全幅員)
斜 角	90°(直線橋)
上部工	A1-A2径間 RC床版橋
施工年次	1958年(昭和33年供用開始)
下部工	橋台 橋脚 (不明)
施工年次	1958年(昭和33年供用開始)
交 差 物	つえ谷
添 加 物	防護柵(ガードレール)
適用示方書	昭和31年 鋼道路橋設計示方書

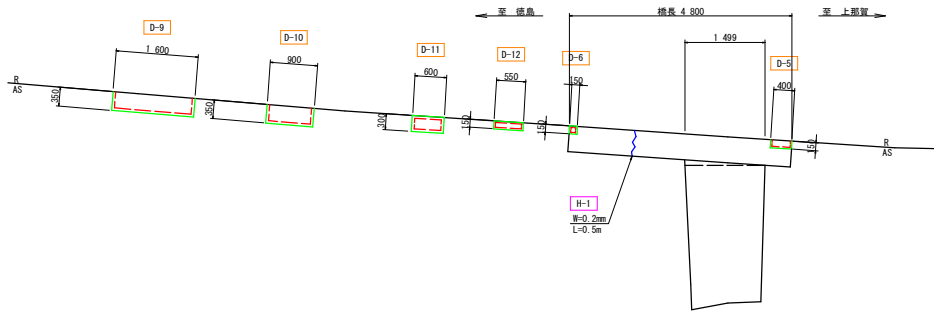
実施設計図面  
(つえ谷橋)

工 事 名	R2那土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般県道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図 面 名	橋梁一般図		
縮 尺	1:50	図面番号	19 / 22
会 社 名			
事業者名	徳島県南総合県民局<那賀>		

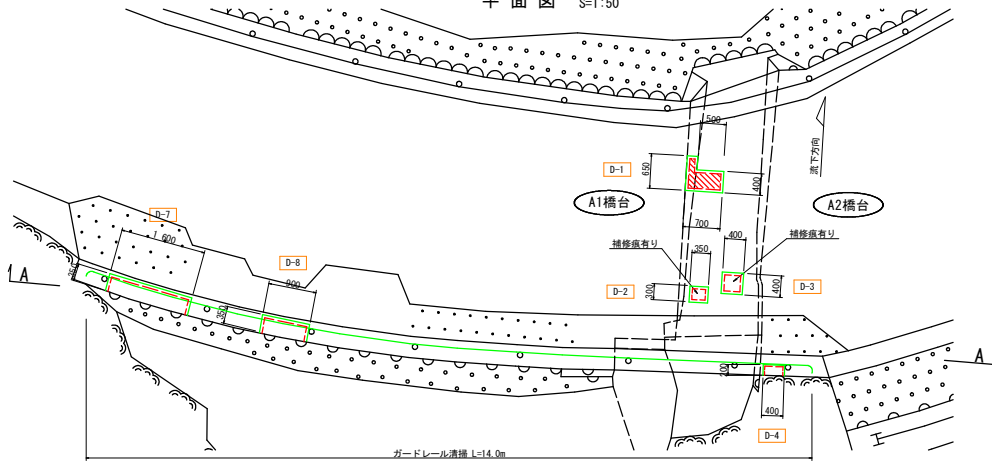
※) 図中の水準高さは任意とする。

# 橋梁及び路側擁壁補修工計画図

側面図 S=1:50  
(A-A)

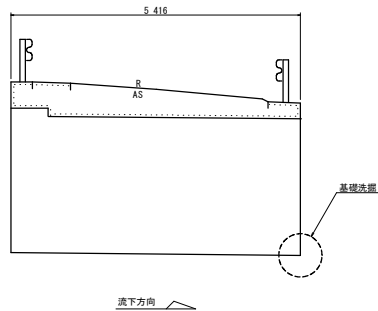


平面図 S=1:50

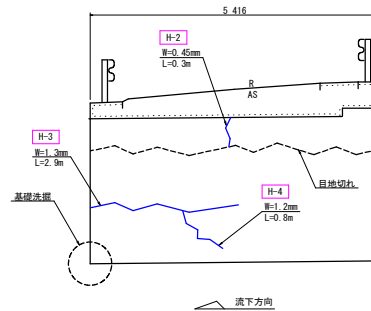


ガードレール清掃 L=14.0m

A1橋台正面図 S=1:50



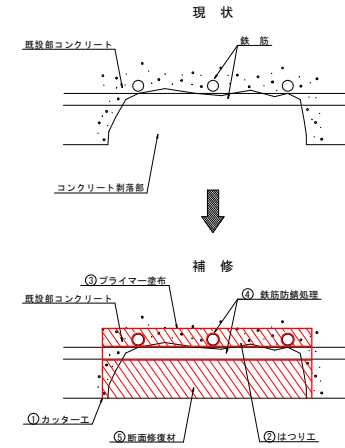
A2橋台正面図 S=1:50



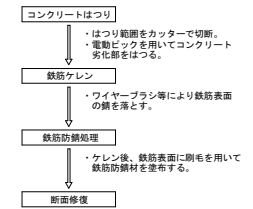
損傷凡例

記号	損傷名称
~~~~~	ひびわれ
~~~~~	ひびわれ・遊離石灰
~~~~~	浮き、剝離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	表面劣化
	漏水
	豆板
	鋼材腐食
	その他

断面修復工  
(左官工法)



施工フロー図



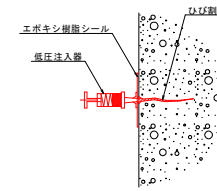
- 1) コチ塗りは空層を残さないように丁寧に施工する。
- 2) 1回の塗り厚さは断面修復材の仕様の塗り厚さに従い、何層かに分けて施工する。

断面修復工数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	面積(m <sup>2</sup> )	厚さ(mm)	数量(m <sup>3</sup> )	※異形
D-1	0.70	0.65	0.320	50	0.017	
D-2	0.35	0.30	0.105	50	0.005	
D-3	0.40	0.40	0.160	50	0.008	
D-4	0.40	0.20	0.080	50	0.004	
D-5	0.40	0.15	0.060	50	0.003	
D-6	0.15	0.15	0.023	50	0.001	
D-7	0.35	1.60	0.560	50	0.028	
D-8	0.35	0.90	0.315	50	0.016	
D-9	0.35	1.60	0.560	50	0.028	
D-10	0.35	0.90	0.315	50	0.016	
D-11	0.30	0.60	0.180	50	0.009	
D-12	0.15	0.55	0.083	50	0.004	
合計			2.771		0.139	

断面修復工 総計 : (面積) ΣA=2.771m<sup>2</sup>  
(修復材) ΣV=0.139m<sup>3</sup>

ひび割れ注入工



施工フロー図



ひび割れ注入工数量表

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)
H-1	0.20	0.50	0.30	0.047
H-2	0.45	0.30	0.30	0.063
H-3	1.30	2.90	0.30	1.784
H-4	1.20	0.80	0.30	0.449
合計				2.323

※ ひび割れ深さは構造形状からの想定

※ 低圧注入器設置間隔 #300(標準)  
※ 注入量の算出要領  
V=1200\*hb\*H\*L+1.30  
V: 注入量  
b: ひび割れ幅  
h: ひび割れ深さ  
L: ひび割れ長さ  
1200: エポキシ樹脂系注入材 比重(ρg/m<sup>3</sup>)  
1.30: ロス率

ひび割れ注入工 総計 : (延長) ΣL=4.500m  
(注入量) ΣV=2.323kg

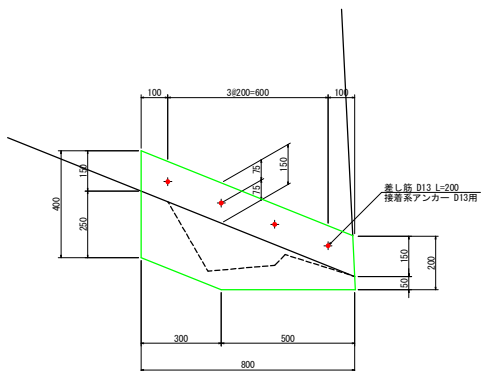
実施設計図面  
(つえ谷橋)

工事名	R2郡土 木沢上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木沢上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	橋梁及び路側擁壁補修工計画図		
縮尺	図示	図面番号	20 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南総合県民局(那賀)		

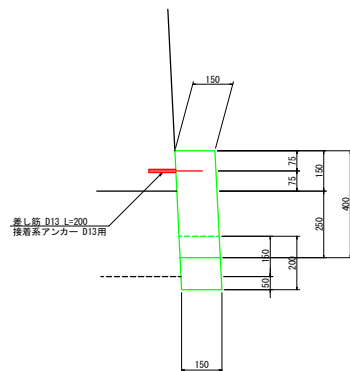
# 橋台基礎根固め工計画図

A1橋台根固め工 S=1:10

正面図

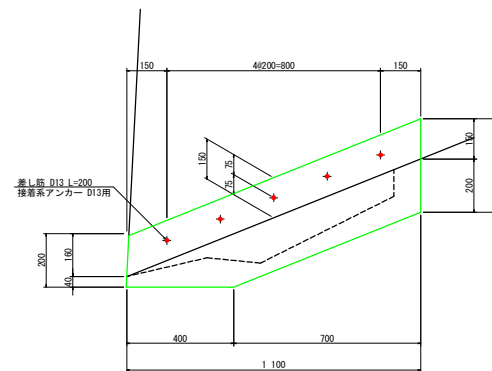


断面図

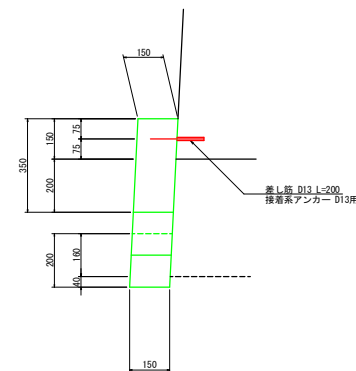


A2橋台根固め工 S=1:10

正面図



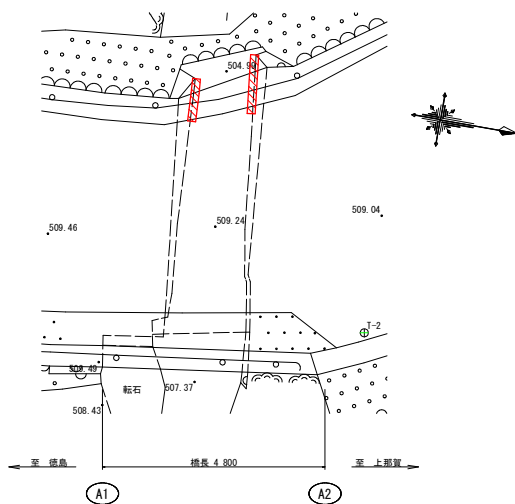
断面図



名称	算式	基量り
コンクリート	$V = 0.269 \times 0.150 = 0.040$	m <sup>3</sup>
型枠	$A = 0.269 \times 0.150 \times (0.409 + 0.200) = 0.359$	m <sup>2</sup>
差し筋	$H = 4 \times 0.200 \times 0.995 = 0.796$	kg
接筋系アンカー	$H = 4 \text{ (D13用)}$	本
チップング処理	$A = 0.150 \times 0.800 = 0.120$	m <sup>2</sup>

名称	算式	基量り
コンクリート	$V = 0.352 \times 0.150 = 0.053$	m <sup>3</sup>
型枠	$A = 0.352 \times 0.150 \times (0.350 + 0.200) = 0.435$	m <sup>2</sup>
差し筋	$H = 5 \times 0.200 \times 0.995 = 0.995$	kg
接筋系アンカー	$H = 5 \text{ (D13用)}$	本
チップング処理	$A = 0.150 \times 1.100 = 0.165$	m <sup>2</sup>

位置図



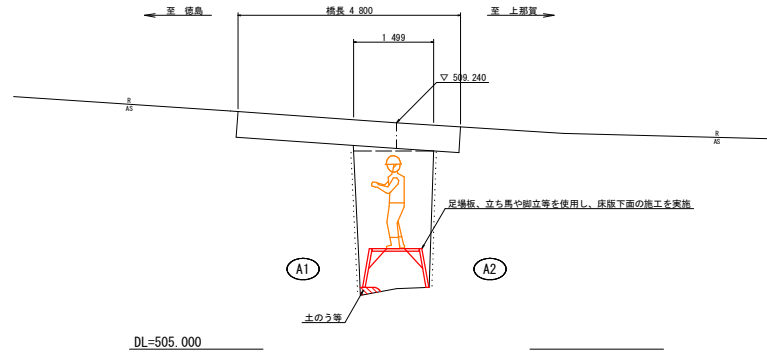
※) 最終的な根固め形状は、現地地形に合わせて調整すること。  
 ※) 施工にあたっては河道の転石状況を確認し、橋台基礎への掘削影響に注意すること。

## 実施設計図面 (つえ谷橋)

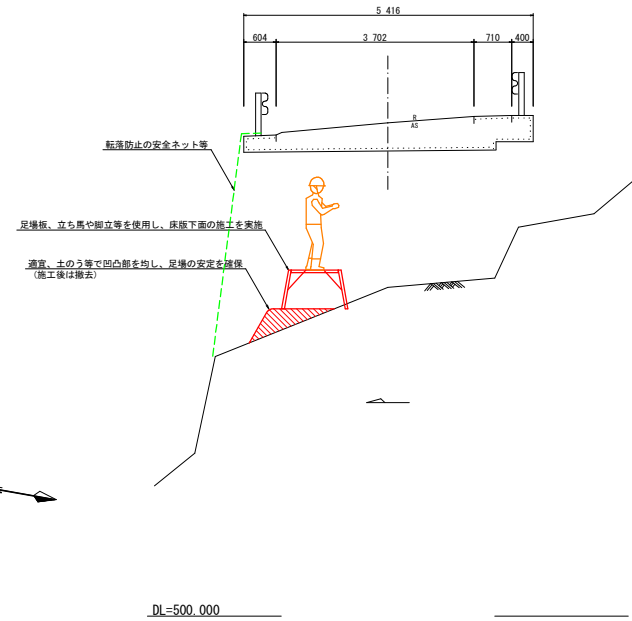
工事名	R2郡土 木沢上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般県道 木沢上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	橋台基礎根固め工計画図		
縮尺	図示	図面番号	21 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

仮設工計画図(参考) S=1:50

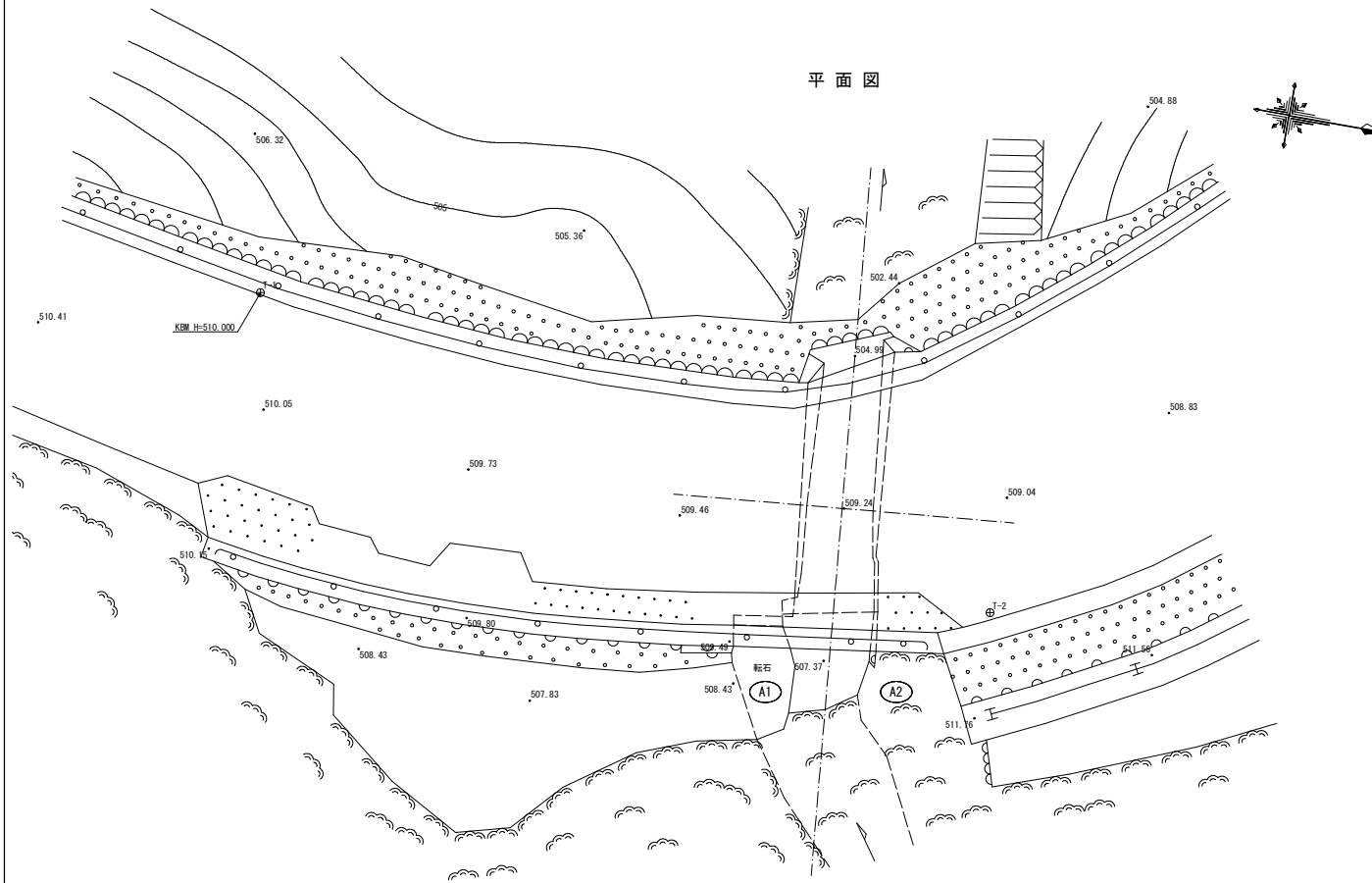
側面図



断面図



平面図



- ※) 図中の水準高さは任意とする。
- ※) 本図は参考であり、実施にあたっては現地状況に適した足場資材を選定するものとする。
- ※) 足場の設置は、非出水期(11月～翌5月)を基本とする。
- ※) 床版下の地盤は凹凸があるため、足場設置にあたっては安全に留意すること。(足場の安定確保、作業員の転落防止対策等)

実施設計図面  
(つえ谷橋)

工 事 名	R2郡土 木次上那賀線他(唐谷橋他4橋) 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図 面 名	仮設工計画図(参考)		
縮 尺	1:50	図面番号	22 / 22
会 社 名			
事業者名	徳島県南総合県民局(那賀)		